

僕たち

私たちの

安浦のまちづくり！



平成21年3月 策定

安浦町まちづくり協議会

I 計画策定の方針

1. 計画策定の趣旨

安浦町まちづくり計画は、安浦町が呉市との合併を平成17年3月に成就させ、県内で3番目に大きい市になった反面、「地域の特色」「安浦らしさ」が出しにくくなっています。

安浦町まちづくり協議会では、「行政を中心とするまちづくり」から「地域住民を主体とするまちづくり」へシフトしながら、行政とよりよいパートナーシップを保とうとしています。

そのためには、地域住民のまちづくりに対する関心と参画意識を高めることが必要であるため、地域住民を対象としたワークショップ、フィールドワーク、市民意識調査（安浦町民対象）などを複数回開催し、安浦町（まちづくり）の方向性を検討したいと考えています。

2. 計画の構成

このまちづくり計画は、次の項目で構成しています。

I	計画策定の方針	
II	安浦町の概況	1
III	安浦町のまちづくり	21
IV	まちづくり計画策定までのフロー	25
V	安浦町まちづくりワークショップ	26
VI	安浦町まちづくり市民意識調査（抜粋）	40
VII	安浦町まちづくり振興方針のフレームと内容	44
VIII	まとめ（今後の展開と課題）	56

II 安浦町の概況

1. 現況

(1) 位置・特性

安浦町は、呉市の南部沿岸地方の中央部、東経132° 44'，北緯34° 16' に位置し、温暖な気候と自然環境に恵まれた地域です。

総面積は、63.53km² その内約70%が山林であり、東・西・北の三方を山に囲まれた地域です。その大部分では、傾斜地が多く平地は少ないのが特徴であり、南側は瀬戸内海に面しています。

そのため、緑豊かな山々と多島美豊かな海を町内各地から望むことができます。

人口は、三津口地区、内海地区、安登地区に集中しており、特に安登地区は昭和50年代からベッドタウンとして開発され、全体の30%以上が集中する地域となっています。

その他、地域のシンボルでもある野呂山の東側に位置する野路地区は、山と川でつくられた狭小な盆地の中に棚田があり、小規模ながら農業が主の集落を形成しています。

こうした自然や地域特性を背景に持つ安浦では、色鮮やかな管弦船が繰り出す柏島大祭や全国月の西行祭、安浦ミュージカルなど伝統的な行事や文化が薫る地域でもあります。

また、グリーンピアせとうちがあることから、市内はもとより、県外、国外からも各種コンベンションの拠点施設となっています。

(2) 歴史

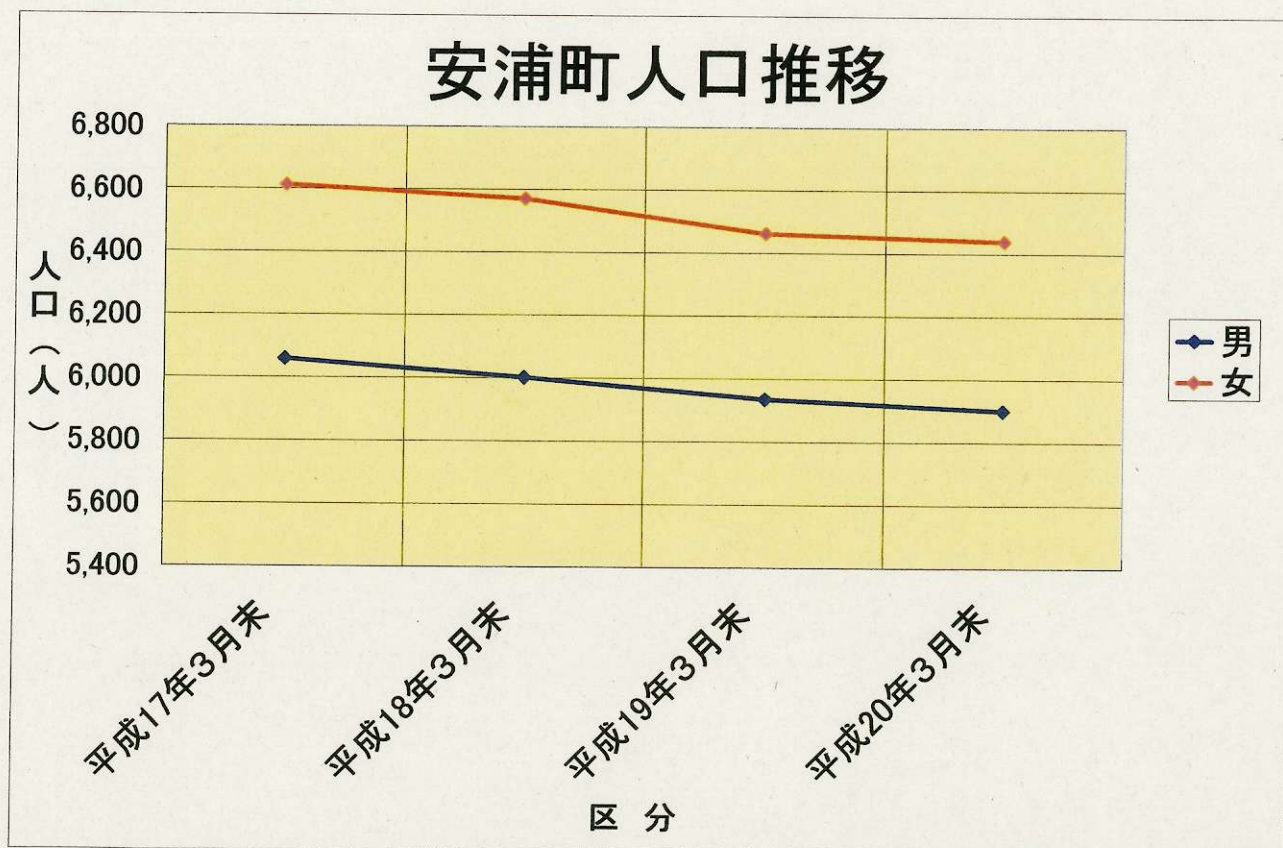
明治22 (1889) 年	町村制の施行により、内海村・三津口村・野路村・中切村・内海跡村の5村を設置
明治29 (1896) 年	内海村に町制を施行し、内海町と改称
大正11 (1922) 年	三津口村に町制を施行し、三津口町と改称
昭和 4 (1929) 年	内海跡村が安登村と改称
昭和17 (1942) 年	野路村と中切村が合併し、野路村となる
昭和19 (1944) 年	内海町、三津口町、野路村が合併し町制を施行、安浦町となる
昭和31 (1956) 年	郡の再編成により賀茂郡から豊田郡になる
昭和33 (1958) 年	安登村を編入 (一部川尻町) し、安浦町となる
平成 6 (1994) 年	町制施行50周年
平成17 (2005) 年	安浦町が呉市と合併

(3) 人口

①安浦町の人口推移

区 分	男	女	計
平成17年3月末	6,059	6,612	12,671
平成18年3月末	6,002	6,570	12,572
平成19年3月末	5,935	6,462	12,397
平成20年3月末	5,901	6,439	12,340

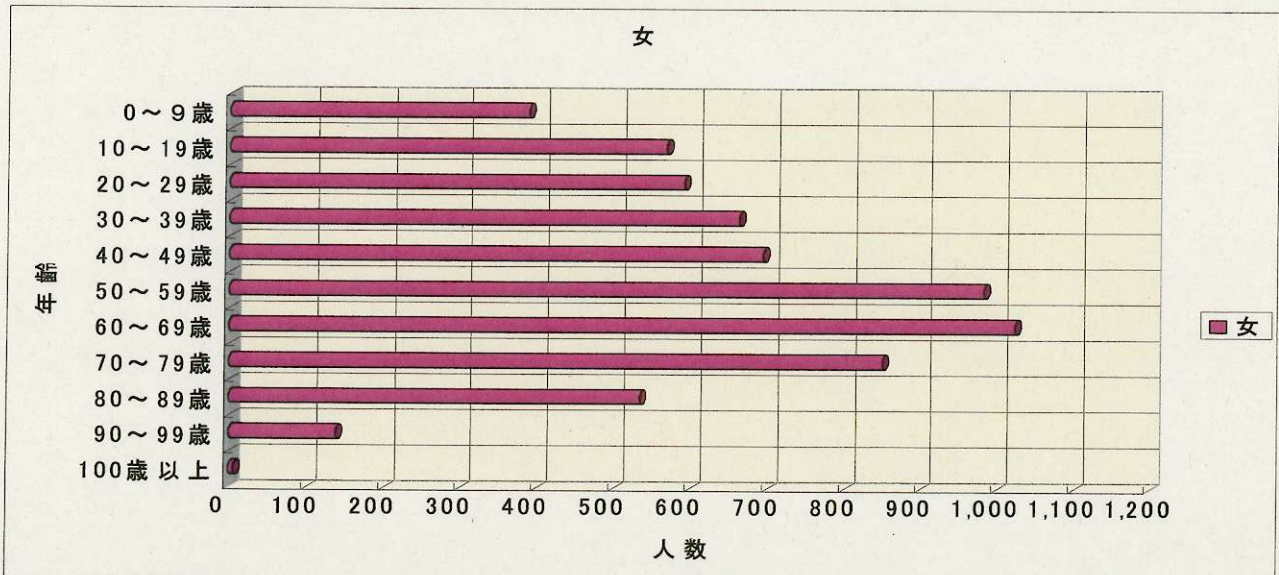
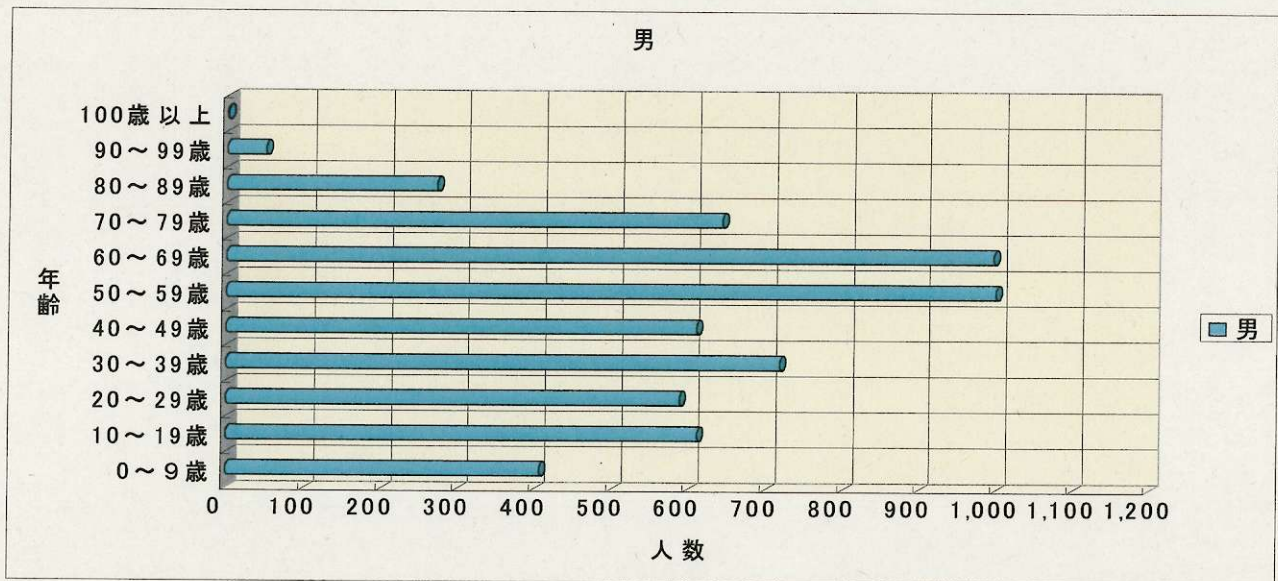
※平成20年3月末現在の数字です



②年代別人口

	男性	女性
100歳以上	1	6
90～99歳	50	138
80～89歳	272	534
70～79歳	644	850
60～69歳	997	1,024
50～59歳	1,000	983
40～49歳	611	694
30～39歳	718	663
20～29歳	589	591
10～19歳	612	568
0～9歳	407	388
計	5,901	6,439

※平成20年3月末現在のデータを引用
 ※色の濃い年代は、特に人数が多い世代

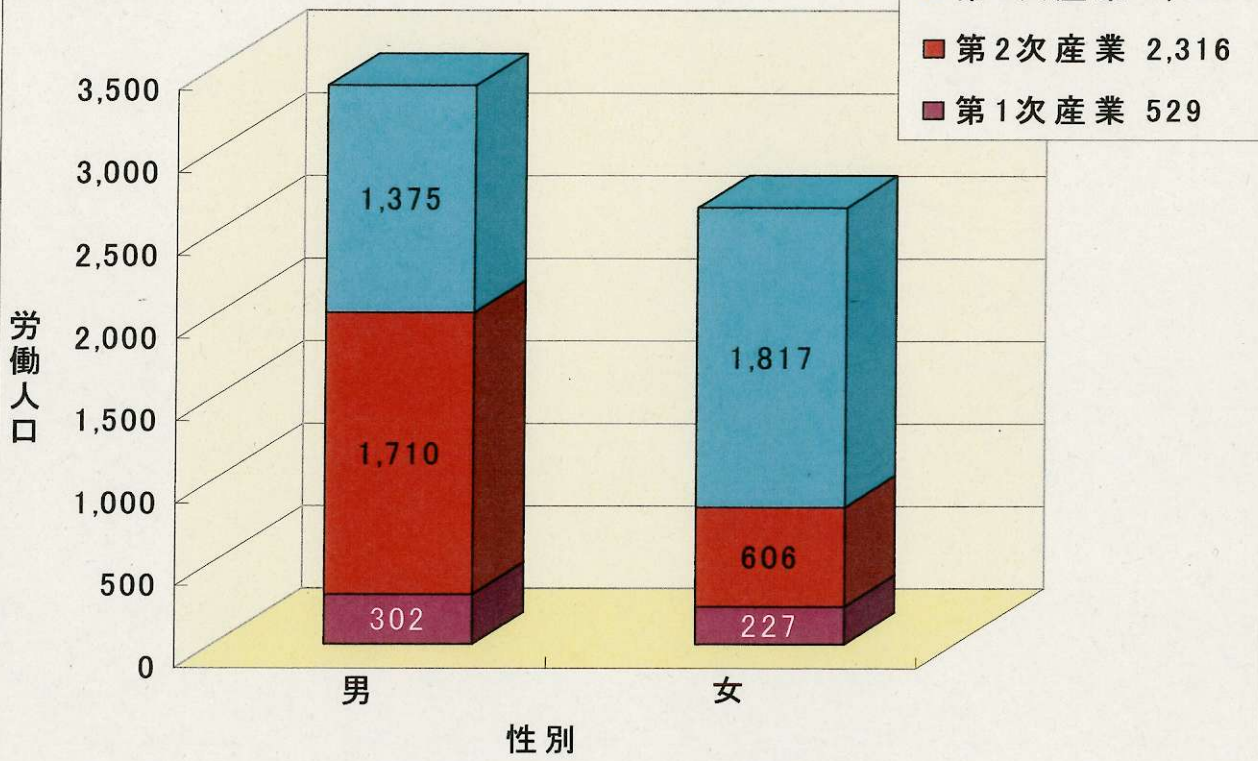


③就労人口

			安 浦 町		
			町内全体	男	女
総	数	(1)	10,891	5,121	5,770
労	働	力	6,360	3,610	2,750
	就	業	6,037	3,387	2,650
	完	失	323	223	100
非	労	働	4,495	1,498	2,997
	う	ち	1,834	94	1,740
	う	ち	668	370	298
就	業	者	6,037	3,387	2,650
第	1	次	529	302	227
	農	業	471	267	204
	林	業	-	-	-
	漁	業	58	35	23
第	2	次	2,316	1,710	606
	鉱	業	2	2	0
	建	業	540	436	104
	製	業	1,774	1,272	502
第	3	次	3,192	1,375	1,817
	電気・ガス・熱	供給・水道業	17	17	0
	情 報	通 信	29	19	10
	運 輸	業	268	224	44
	卸 売 ・ 小 売	業	855	334	521
	金 融 ・ 保 險	業	82	33	49
	不 動 産	業	26	16	10
	飲 食 店 、 宿 泊	業	219	67	152
	医 療 、 福 祉	業	598	89	509
	教 育 、 学 習 支 援	業	192	51	141
	複 合 サ ー ビ ス 事	業	74	44	30
	サ ー ビ ス	業	617	337	280
	公	務			
	(他に分類されないもの)		165	114	51
	分 類 不 能 の 産 業		50	30	20
雇	用	者	4,802	2,687	2,115

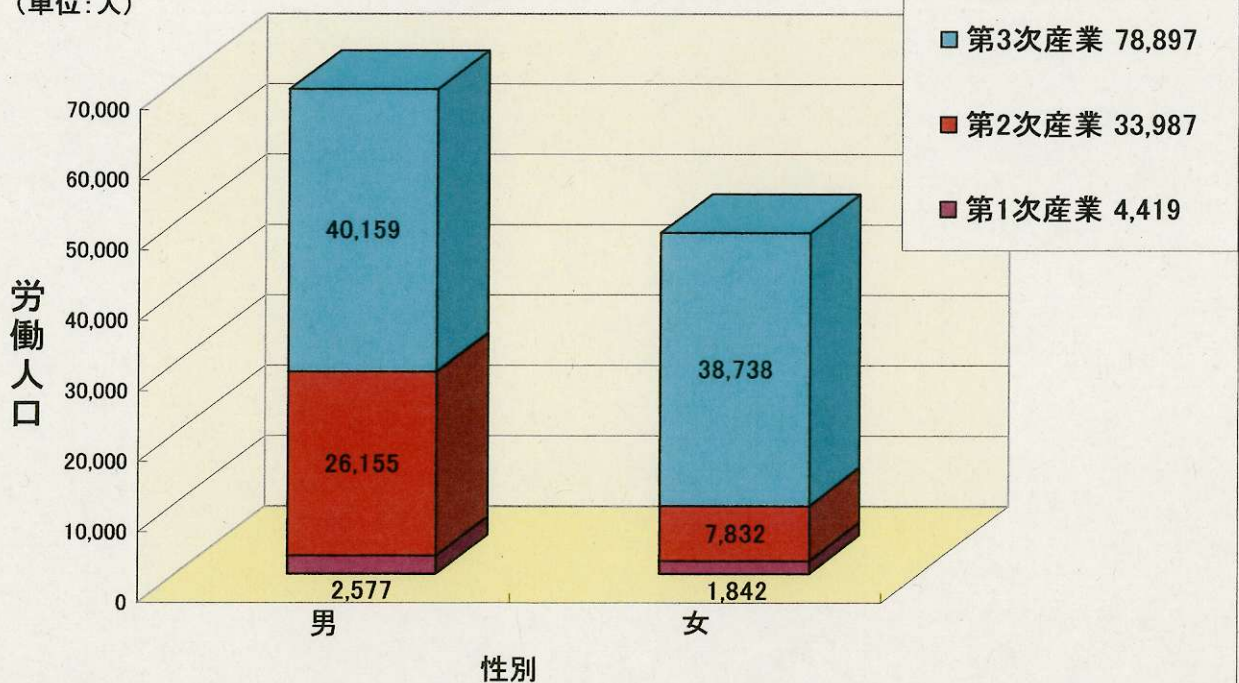
業種別グラフ(安浦町内)

(単位:人)



業種別グラフ(呉市全体)

(単位:人)



就学，就労及び被就労人口（合併8町比較）

	安浦町	音戸町	川尻町	倉橋町	下蒲刈町	蒲刈町	豊浜町	豊町
就学人口	1,808	1,881	1,461	762	186	211	44	86
割合(%)	15	13	15	11	10	9	2	3
就労人口	6,037	6,202	4,734	3,080	915	1,186	1,086	1,580
割合(%)	49	45	49	45	47	50	58	63
被就労人口	4,495	5,852	3,489	3,026	844	992	753	858
割合(%)	36	42	36	44	43	41	40	34
総計	12,340	13,935	9,684	6,868	1,945	2,389	1,883	2,524

※旧市内は除き，合併町のみのデータ抽出

【音戸町】

- ・音戸町に比べ、被就労人口が少ない
- ・就学及び就労人口は音戸町とほぼ同値

【川尻町】

- ・就学、就労人口及び被就労人口の割合が、川尻町と同値

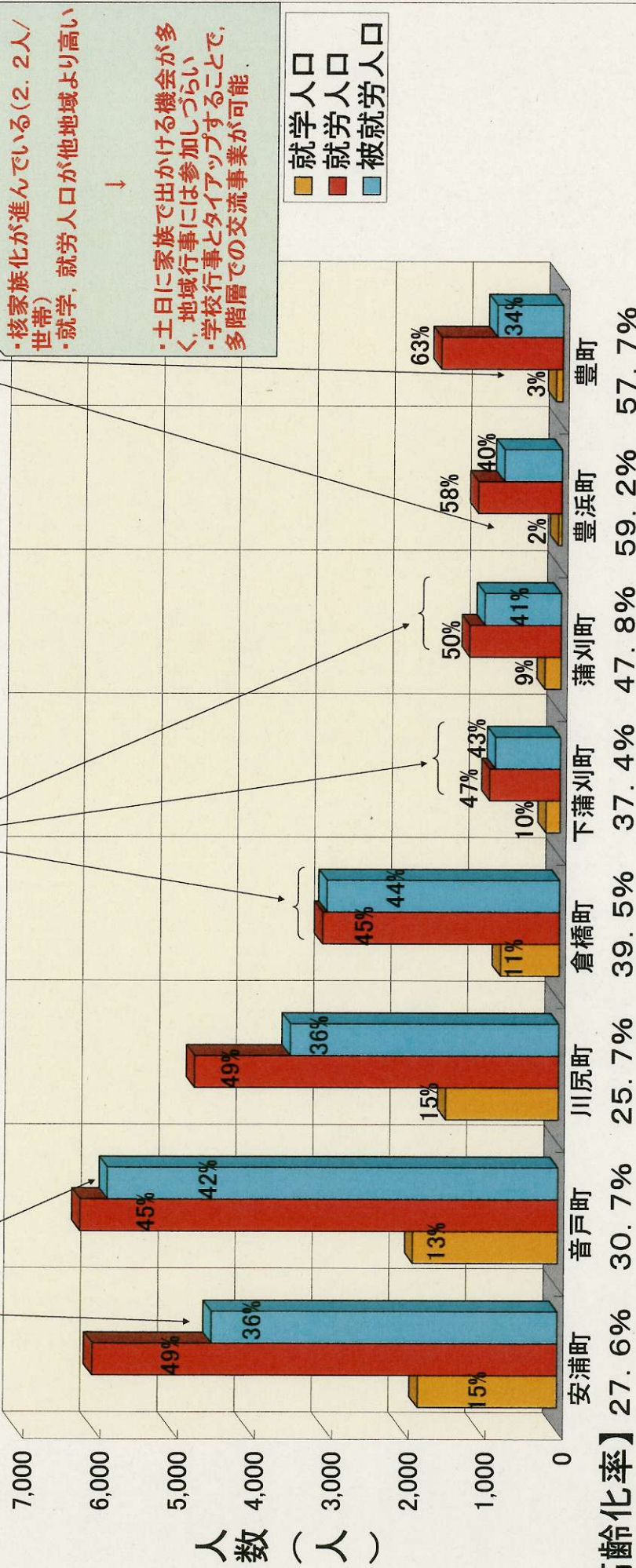
【倉橋町・下蒲刈町・蒲刈町】

- ・就労及び被就労人口の割合がほぼ同値で、安浦町に比べ就学人口が少ない(島諸部であることが原因か)

【豊浜町・豊町】

- ・就労及び被就労人口の割合は、安浦町とほぼ同値だが、就学人口が極めて少ない

合併8町比較



■ 就学人口
■ 就労人口
■ 被就労人口


・核家族化が進んでいる(2.2人/世帯)
・就学、就労人口が他地域より高い


↓


・土日に家族で出かける機会が多く、地域行事には参加しづらい
・学校行事とタイアップすることで、多階層での交流事業が可能


【高齢化率】 27.6% 30.7% 25.7% 39.5% 37.4% 47.8% 59.2% 57.7%


2. 安浦の資源
 (1) 施設・公園など


施設名称	所在地
稚児公園(サクラ)	呉市安浦町水尻
	概要 青い空と三津口湾の眺望が楽しめる花いっぱいの公園。 春には赤、白、ピンクのツツジが斜面に咲き盛る素晴らしい景観が望めるほか、桜やフジ、サツキと、少しずつ時期を遅らせながら、春を満喫することができる。 また、遊歩道は身近なハイキングコースとしても親しまれている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	<input checked="" type="radio"/> 1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

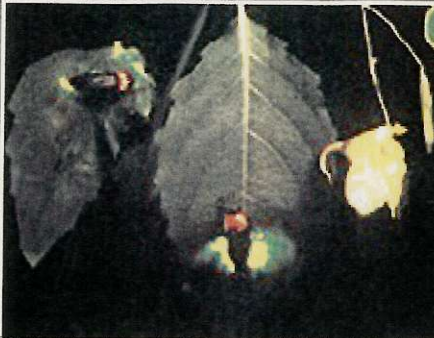
施設名称	所在地
稚児公園(ツツジ)	呉市安浦町水尻
	概要 青い空と三津口湾の眺望が楽しめる花いっぱいの公園。 春には赤、白、ピンクのツツジが斜面に咲き盛る素晴らしい景観が望めるほか、桜やフジ、サツキと、少しずつ時期を遅らせながら、春を満喫することができる。 また、遊歩道は身近なハイキングコースとしても親しまれている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	<input checked="" type="radio"/> 1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
三本松公園	呉市安浦町中切
	概要 中国自然歩道に沿った桜の名所で春は多くの人でにぎわう。 ここには、野呂山八十八カ所を巡る三本松一番札所がある。 野呂山八十八カ所札所巡りは、1番から10番まで祀られている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
JR安登駅前の日本一短い県道	呉市安浦町安登西5丁目(JR安登駅)
	概要 この県道は、JR呉線安登駅前広場から国道185号までのわずか7mしかない。 2001年頃に拡幅されたため道路幅が延長を上回ってしまい、駅前広場がそのまま国道につながっているようにしか見えないのが特徴である。 延長距離が僅か7mしかいないため、日本で一番短い県道である。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

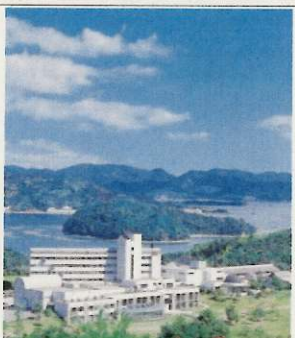
施設名称	所在地
安浦町内の史跡・文化財めぐり	呉市安浦町内
	<p>概要</p> <p>稚児明神 …三津口湾口海上の大岩の上にある神功皇后の小祀</p> <p>金箱古墳群…花崗岩を組み合わせた箱式石棺(古墳時代のもの)</p> <p>猪鹿垣 …猪鹿を防ぐための石垣で山城の石塁を利用している</p> <p>西行庵 …歌聖西行法師が厳島参詣の途中に高飛浦で詠んだ</p> <p>弘法寺 …本尊弘法大師は25毎に開帳</p> <p>浄念寺 …忠勤を励んでいた豊前国下毛郡奄津村, 善頓の開基</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
南薫造記念館	呉市安浦町内海2-13-10
	<p>概要</p> <p>安浦町出身で近代日本洋画史に不滅の足跡を残した南薫造(みなみくんぞう)画伯の生家・アトリエの改修に, 特別展示室を加え, 新たに歴史民俗資料館として1985(昭和60)年に開設された。</p> <p>南画伯の絵画を中心に, 遺品や民俗資料を展示している。</p> <p>居宅は江戸後期に建造されたもので, この地方の昔を偲ぶ代表的な木造建築物である。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

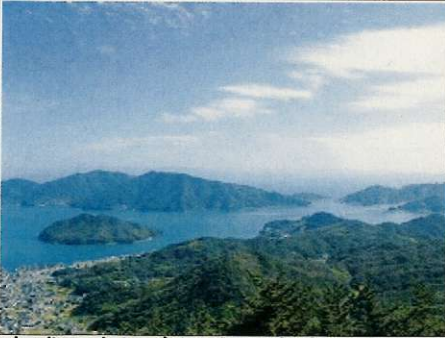
施設名称	所在地
ホタルの里	呉市安浦町 野呂川水系
	<p>概要</p> <p>安浦町では、天然のホタルが季節になると漆黒の闇に舞い上がる。とは言っても、いつでも飛んでいるわけではない。その条件としては、</p> <p>①蒸し暑くて ②風のない ③夜8時～9時頃(この時間帯が最も出ます)</p> <p>ホタルは水と土の中で長い期間を過ごし、成虫となって空を飛べるのは、わずかに1～2週間だけ。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	<input checked="" type="radio"/> 2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
西福寺の観音堂	呉市安浦町内海北5丁目
	<p>概要</p> <p>観音像の衣文の表現の刀法は概して浅く、背部の衣文を彫線で表す手法が見られ、前部の衣文には微かに翻波(ほんぱ)式の刀法が見える。</p> <p>この像には背割り(せぐり)があり、胎内には印仏した紙葉をこよりで束ねて3段に安置している。</p> <p>印仏紙は文書を利用したもので、正和4年(1315年)や「延慶」、「元応」など鎌倉時代末期(14世紀前半)の年号が見え、観音立像も同時代の製作と考えらる。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	<input checked="" type="radio"/> 4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	<input checked="" type="radio"/> 2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
田んぼ・畑・棚田	呉市安浦町中畑
	<p>概要</p> <p>稲作は、水はけが良く、水利が良い土地であるという条件と安浦(中畑)の地理的条件があいまって「棚田」が生まれたが、近年では、農機具の機械化と農業従事者の減退が進み、「棚田」自体が存在が薄れてきている。</p> <p>安浦の田で収穫された、米をはじめとする農作物は良質な土壌で育まれており、地元はもとより多くの方から好評を得ている。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input checked="" type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
グリーンピアせとうち	呉市安浦町三津口326-48
	<p>概要</p> <p>春には穏やかな海を花たちが彩り、夏は歓声上がるビーチが華やぐ。</p> <p>山海の幸に恵まれる秋、温和な気候に心地よい冬。</p> <p>四季の表情を満喫するグリーンピアせとうちは、瀬戸内海に面し、広大な敷地にレジャーやお湯を満喫できる施設が整ったシーサイドリゾート。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	<input checked="" type="radio"/> 1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input checked="" type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
柏島	呉市安浦町三津口
	<p>概要</p> <p>瀬戸内海の管弦祭は、海に面していることでほとんどが海上で行なわれる。</p> <p>内海に浮かぶ島、宮島、大三島そして柏島で行なわれる管弦祭を「瀬戸内海三大管弦祭」といわれおり、柏島では毎年6月の中旬にかけて大祭として催されている。</p> <p>安浦町の三津口港から東南約2Kmの海上にある柏島を中心に、大漁と船の交通安全を願って始まった海の祭である。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	<p>1. 良いと思っている</p> <p>2. どちらかというと思っている</p> <p>3. どちらかというとは思っていない</p> <p>4. そうは思わない</p>
有効に使われていると思うか？	<p>1. 有効に使われている</p> <p>2. 有効に使われていない</p>
有効に使われていない理由は？	<p>1. 宣伝が足りない</p> <p>2. 案内板がない</p> <p>3. ゴミなどで汚れている</p> <p>4. 外灯がない(暗い)</p> <p>5. 駐車場がない</p>


施設名称	所在地
野呂山	呉市安浦町
	<p>概要</p> <p>広島県南西部、呉(くれ)市にある高原状台地。</p> <p>西方の膳棚(ぜんだな)山(839メートル)がもっとも高い。</p> <p>全体が緩やかなドーム状の「のろ」地形を示し、中国山地の高位平坦(へいたん)面の一部と考えられている。</p> <p>山頂にはロッジやキャンプ場、筆(ふで)づくり資料館などがあり、瀬戸内海の眺望美に優れている。</p> <p>瀬戸内海国立公園に含まれ、山頂へはさざなみスカイラインが通じる。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	<p>1. 良いと思っている</p> <p>2. どちらかというと思っている</p> <p>3. どちらかというとは思っていない</p> <p>4. そうは思わない</p>
有効に使われていると思うか？	<p>1. 有効に使われている</p> <p>2. 有効に使われていない</p>
有効に使われていない理由は？	<p>1. 宣伝が足りない</p> <p>2. 案内板がない</p> <p>3. ゴミなどで汚れている</p> <p>4. 外灯がない(暗い)</p> <p>5. 駐車場がない</p>


施設名称	所在地
野呂川ダム公園	呉市安浦町大字中畑641-11
	概要 野呂川だむ公園は、四季折々の自然を楽しむことが出来る公園である。 春には、周辺道路に桜が咲き乱れ、夏にはホタル、秋にはモミジ狩りなど1年を通じて見所が満載である。 敷地内には、キャンプ場、運動広場、あやめ池など多種多様なニーズに応えることが出来る自然公園である。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
安登運動公園	呉市安浦町安登西
	概要 子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が集える公園として整備され、地域コミュニティーの拠点と成している。 現在では、朝夕にウォーキングをされる方が増えており、行き交う人々の会話も弾んでいるようだ。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

施設名称	所在地
七浦海岸(海水浴場)	呉市安浦町安登1048-6
	<p>概要</p> <p>安浦のちょっと西に「七浦海水浴場」というところがある。そこを今年度リニューアルされた。海水浴シーズンは多くの観光客で賑わいますが、夏以外は例年、閑散としていた。最近では、カフェレストランができており、ディナーはもとよりランチも楽しむことができる。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	<input checked="" type="radio"/> 2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

施設名称	所在地
安浦たんと節	
	<p>概要</p> <p>昭和12年7月、野口雨情は三津内海駅(現安浦駅)に降り立ち、内海を訪ねて逗留した。町内を遊行し、人情に触れる中で作詞されたのであった…作曲は、雨情より7歳年下で交友の深かった藤井清水(現呉市焼山出身)によるものである。しかし、第二次大戦中、海軍の要請によって、内海町は近隣町村と合併し、大きく安浦町として発足。そのため、内海たんと節を安浦たんと節として現在うたわれている。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input checked="" type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない


施設名称	所在地
緑の里いなし	呉市安浦町中畑548(事務局:上田勝則)
	<p>概要</p> <p>呉市安浦町北西部に位置する市原・中畑・下垣内地区の3自治会が、平成17年3月に緑の里『いなし』運営協議会を結成して、地域づくりに取り組んでいる。</p> <p>廃校となった野路西小学校跡地で、「秋穫祭」など様々なイベントも開催しており、近くの広島国際大学の学生と共同でイベントを開催するなど、交流も深めている。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	2. どちらかというと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input checked="" type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

施設名称	所在地
コンクリート船 武智丸	呉市安浦町三津口
	<p>概要</p> <p>コンクリート船は日本でも第二次世界大戦前から数隻建造されていたようだが、安浦漁港にある武智丸は第二次世界大戦時、資材が枯渇してきた帝国海軍が鉄鋼資材の不足を補うために舞鶴の海軍工廠が設計・研究し、もともと土木工学家だった武智氏が創業した武智造船所で建造された。</p>
安浦町まちづくり市民意識調査より	
良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	1. 良いと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	1. 宣伝が足りない
	2. 案内板がない
	<input checked="" type="radio"/> 3. ゴミなどで汚れている
	4. 外灯がない(暗い)
	5. 駐車場がない

施設名称	所在地
農道・子の浦線からの景色	呉市安浦町三津口
	概要 子の浦(農道)から柏島を望むと眼下には無数のかき筏が水面に映し出される。 安浦を映像で紹介する機会には、必ずと言っていいほどの景勝地である。 安浦の牡蠣は、生活排水が少ない野呂川の清流とミネラルを多く含んだ水域であることから良質な牡蠣が生産されている。

安浦町まちづくり市民意識調査より


良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	<input checked="" type="radio"/> 1. 良いと思っている
	<input type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	<input type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	<input type="radio"/> 4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	<input type="radio"/> 1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input checked="" type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	<input type="radio"/> 2. 案内板がない
	<input type="radio"/> 3. ゴミなどで汚れている
	<input type="radio"/> 4. 外灯がない(暗い)
	<input type="radio"/> 5. 駐車場がない


施設名称	所在地
三津口 八十八ヶ所(御大師様)	呉市安浦町三津口
	概要 「三津口八十八ヶ所」「野呂山伊音城八十八ヶ所」と安浦には四国八十八ヶ所になぞらえた御大師さん巡りコースが2つある。 三津口八十八ヶ所はウォーキングコースとしてもお勧めで、昔ながらの路地を抜けて、御大師さんを探しながら歩いていると、いろいろ発見することもあって面白い。


安浦町まちづくり市民意識調査より


良いと思っているか？ 自慢できると思っているか？	<input type="radio"/> 1. 良いと思っている
	<input type="radio"/> 2. どちらかというと思っている
	<input checked="" type="radio"/> 3. どちらかというとは思っていない
	<input type="radio"/> 4. そうは思わない
有効に使われていると思うか？	<input type="radio"/> 1. 有効に使われている
	<input checked="" type="radio"/> 2. 有効に使われていない
有効に使われていない理由は？	<input type="radio"/> 1. 宣伝が足りない
	<input checked="" type="radio"/> 2. 案内板がない
	<input type="radio"/> 3. ゴミなどで汚れている
	<input type="radio"/> 4. 外灯がない(暗い)
	<input type="radio"/> 5. 駐車場がない


(2)特産品など


特産品名	内容
かき	製造・販売元:安浦漁協
	野呂川の清流と三津口湾のアマモに育てられた良質な牡蠣は、広島県内はもとより、「かき通」からも好評を得ている一品である。「牡蠣は人の顔の如く、味や大きさが違う」と言われているが、安浦牡蠣の特徴は、小ぶりではあるが、身がしっかり詰まっているため、素がきやかきフライにはもってこいである。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというそう思っている
	3. どちらかというそうは思っていない
	4. 認知していない


特産品名	内容
地酒	製造・販売元:盛川酒造
	盛川酒造は広島県南部、瀬戸内最高峰・野呂山の麓で野呂山(標高839m)を源流とする野呂川のほとりにある。野呂川は蜩舞う清流で、蔵のまわりは自然豊かなところで、蔵の横の野呂川を下ると三津口湾に出る。遠浅の海で牡蠣養殖がさかんです。三津口湾からの瀬戸内海の眺めは絶景です。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというそう思っている
	3. どちらかというそうは思っていない
	4. 認知していない


特産品名	内容
野菜	製造・販売元:朝市
	安浦の山岳部では、良質な土壌と野呂川の流れを受け、米をはじめとする農作物は、地元はもとより多くの方から好評を得ている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというそう思っている
	3. どちらかというそうは思っていない
	4. 認知していない


特産品名	内容
いちぢく	製造・販売元: 安浦特産品加工グループ
	甘みが強くて美味しいと高い評価を得ている地元産のいちぢくを使用し、グラニュー糖とレモン果汁だけで作った手作りのジャムです。やさしい甘みといちぢくのふちふち感がとっても美味しいこのジャムは、パンにつけるだけでなく、ドレッシングの隠し味やデザートソースとしてもお楽しみいただけます。どこか懐かしいいちぢくジャムをお楽しみください。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというと思うている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

特産品名	内容
米	製造・販売元: 朝市
	安浦の山岳部では、良質な土壌と野呂川の流れを受け、米をはじめとする農作物は、地元はもとより多くの方から好評を得ている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというと思うている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

特産品名	内容
しいたけ	製造・販売元: 安浦椎茸生産組合
	干しシイタケは生産組合が野呂山山頂近くの施設で地下水を使って栽培し、乾燥機にかけて作る。野呂山で安浦椎茸(しいたけ)生産組合が作る干しシイタケは旧市内の小学校の給食に導入し、生徒をはじめ栄養士らにも好評。生産量が限られるため時期は限定されるが、組合は「地元の子どものためにできるだけ継続したい」と意気込んでいる。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は？	1. 認知している
	2. どちらかというと思うている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

特産品名	内容
テイレギ	製造・販売元: 呉広域商工会安浦支所 青年部
	学名: オオバタネツケバナ(アブラナ科) 自生地: 湧水が緩やかに流れるきれいな小川や付近の湿地で、水温が15~19℃のところを育つ。 食べ方: やわらかい緑色の幼芽を生のまま刺身のつまにしたり、ひたし物に利用。 味覚: 独特の香りとピリッとしたさわやかな辛味を持ち、歯切れが良く、珍重されている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は?	1. 認知している
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

特産品名	内容
白魚	製造・販売元: 安浦漁協
	透明な体をした小さな魚で、食用に漁獲される。シラウオとは生態や姿が似ていて混同しやすいが、シラウオはキュウリウオ目シラウオ科に分類される全く別の魚である。体長は5cmほどで、丸い断面の細長い体をしている。鱗がない。体にはわずかに黒い色素細胞があるが、ほとんどが透明で、銀色の眼球やうきぶくろなどが透けて見える。三津口湾では、当たり前のように採られていた白魚も今では昔話となっている。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は?	1. 認知している
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

特産品名	内容
地酒ケーキ	製造・販売元: 盛川酒造
	地酒「白鴻・沙羅双樹」の酒粕を生地に練り込み、大吟醸酒をたっぷりしみ込ませた、贅沢なケーキ。
安浦町まちづくり市民意識調査より	
特産品としての認知度は?	1. 認知している
	2. どちらかというと思っている
	3. どちらかというとは思っていない
	4. 認知していない

Ⅲ 安浦町のまちづくり

1. 安浦のまちづくりの特色

(1) まちづくりゼミナール

安浦町は、恵みの豊かな海と緑を礎として、未来に向かって限りなく前進する町民の活力を源に、新世紀の新鮮な息吹を感じられる「活力あるまちづくり」ということを基本テーマとし「海と緑とロマンの町・安浦（心やすらぐ ふれあいと創造のまち）」と町制時代に設定していました。

こうした背景から、「自然の豊かさ」を基点とした市民活動が地域のあちこちで機運が醸成され、現在、各種団体の個別の活動として、脈々と受け継がれています。安浦町では、合併前（平成16年度）に「まちづくりゼミナール」を6回シリーズで開催し、安浦の特徴や今後のまちづくりに必要なアイデアなどについて、約60名の方々がワークショップを通じて話し合ってきました。



(2) まちづくり応援隊

まちづくりゼミナールを修了した25名のメンバーが町内でまちづくり活動をされている団体を応援する組織を結成しました。

現在は、休耕田を有効活用した「花いっぱい運動」を実施しており、国道を歩き交う車の車窓からも黄色の絨毯に心を奪われます。



(3) 緑の里いなし運営協議会

安浦町北西部に位置する市原・中畑・下垣内地区の3自治会が、平成17年3月に緑の里『いなし』運営協議会を結成して、地域づくりに取り組んでいます。

廃校となった野路西小学校跡地で、「秋穫祭」など様々なイベントも開催しています。



(4) 安浦漁業協同組合 若部海

安浦町南西部に位置する三津口地区でかき養殖を行う後継者6名で構成される若部海。

今年で2回目を迎えた「安浦かき祭り」では、独自のアイデアで安浦かきの魅力や来場者が楽しめるイベントとなり、多くの方から好評を得ることができました。



(5) 町づくり脱温暖化やすうら

広島県地球温暖化防止活動推進員、安浦地区公衆衛生推進協議会、安浦自治連合会、グリーンピアせとうち、安浦・水と生命を育む会が構成し、ごみ減量につながる活動の企画・実践をはじめ、地域住民・事業者・行政などが協働して、ライフスタイルの改善に努める活動をしています。



(6) 呉市まちづくりサポーター (第1号) 山田 賢一さん

安浦市民センターを拠点に地域内の各種団体の支援活動を行っている山田さんは、呉市まちづくりサポーター第1号として平成20年5月に委嘱されました。

山田さんは、町内で活動している団体間の連携やかき祭りなどイベントアドバイザーとしていろいろなところに顔を出しています。



2. 安浦町におけるまちづくりの推進体制について

(1) 事業企画部会の設置経緯

町内では、文化、芸術、スポーツ、清掃、朝市、各種イベント等さまざまな団体が活躍されています。

こうした状況下、安浦町まちづくり協議会では、今後のまちづくりの方向性を検討する上で、年間を通じてワークショップやフィールドワーク、市民意識調査など、まちづくりに対する機運醸成と高揚を図ることを目的に「事業企画部会」の設置を決めました。

また、この「事業企画部会」では、従来から懸案であった町内で開催されている各種イベント（町全体、地域イベントなど）における、慢性的な人員不足（スタッフ）と高齢化、魅力あるイベントを企画・実施するための創造力などを補完することも設置の目的としています。

「事業企画部会」に期待すべき役割や将来像は、高まるばかりですが、事業企画部会が多種多様なイベントの「懐刀（ふとところがたな）」的な存在になることで、町内で開催されるイベントに横断的に関与することができ、かつ、それぞれのイベントの位置づけも必然的に整理・統合ができるものと期待しています。

「安浦人あるところに安浦らしい魅力あるイベント（企画）あり」と思われるようなメンバーが集う事業企画部であるためには、人材育成を図りながら、地域に根ざした組織でなくてはなりません。

したがって、地域リーダー的な人材を育成する経費も今後必要となってくるものと思われます。

こうした活動は、未来の安浦を担う「人材育成」という視点ばかりではなく、安浦に住みいろいろな活動をしている方々を応援する意味も兼ね備えています。

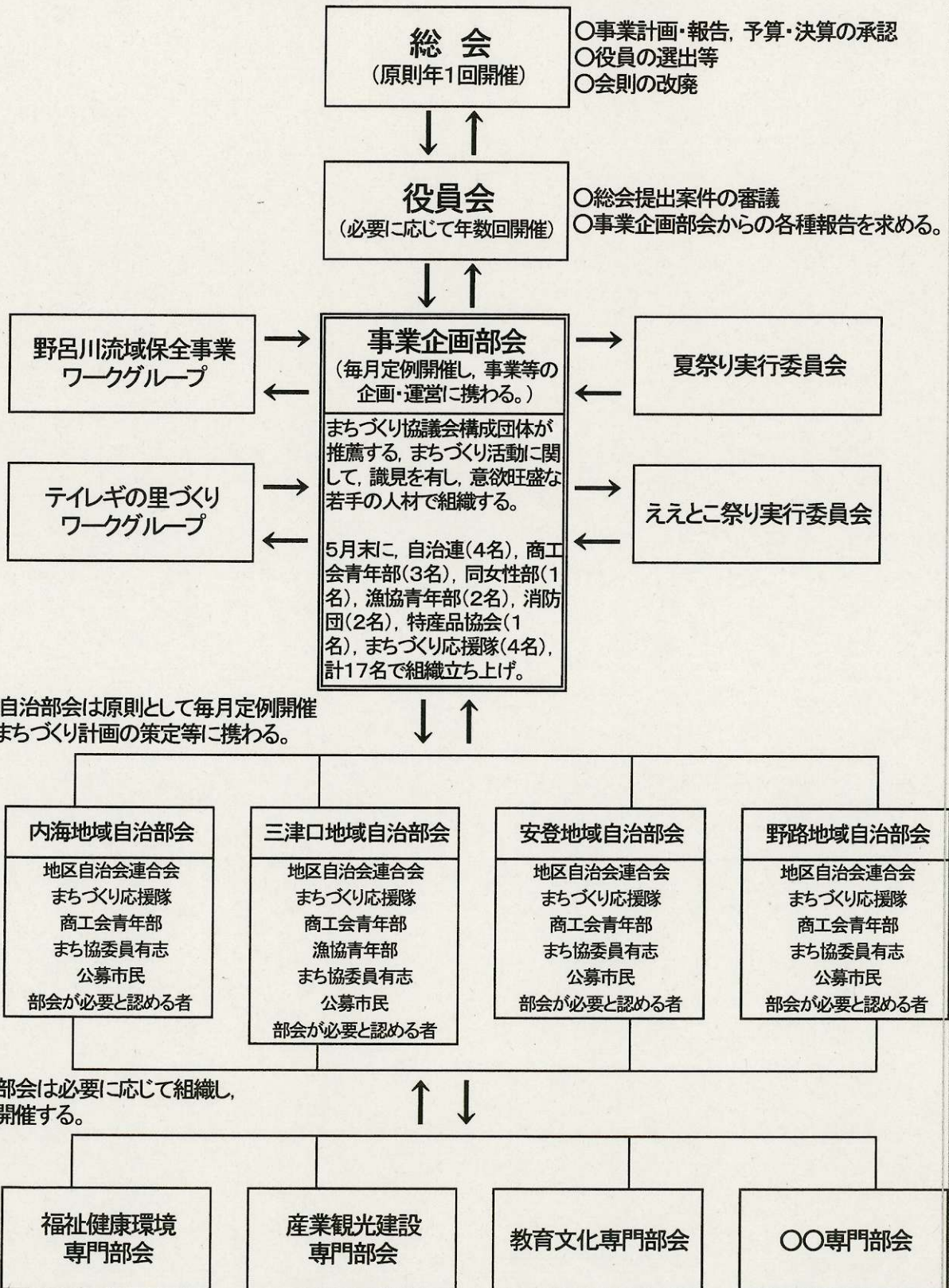
また、誰もが事業企画部のメンバーになりうるという側面も忘れてはなりません。

安浦のまちづくりは、事業企画部のメンバーや安浦町まちづくり協議会の役員だけがするのではなく、あくまでも、安浦在住のみんなで作上げるものです。

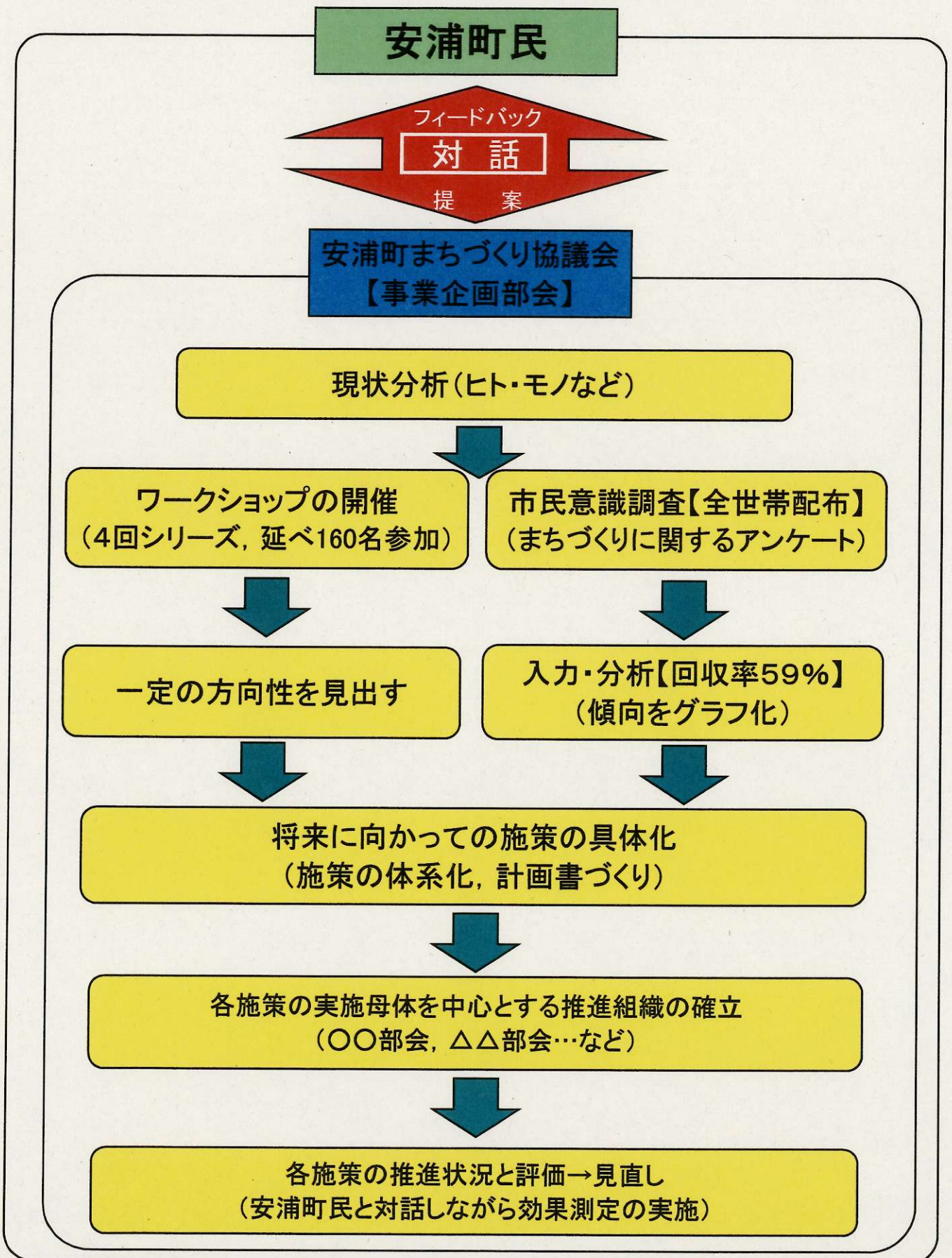
そのためには、広報誌やアンケートをはじめ、ワークショップなどを随時開催しながら、常に「対話型」を意識しながらまちづくりを進めることが肝要であると思っています。

(2) 安浦町まちづくり協議会の推進体制

安浦町まちづくり協議会組織図



安浦町まちづくり計画策定に係わるフロー図



V 安浦町まちづくりワークショップ

1. 事業の概要

安浦町まちづくり計画ワークショップ 実施要領

～誰もが笑顔でいられる安浦を目指して～

1. 趣旨・目的

安浦町は、平成17年3月に呉市と合併し、新呉市として新たなスタートを切りました。合併することにより、県内で3番目に大きい市となった反面、「地域の特色」「安浦らしさ」が出しにくくなっています。

安浦町まちづくり協議会としては、「行政を中心とするまちづくり」から「地域住民を主体とするまちづくり」へシフトしながら、行政とよりよいパートナーシップを保とうとしています。

そのためには、地域住民のまちづくりに対する関心と参画意識を高めることが必要であるため、地域住民を対象としたワークショップを開催し、まちづくりの方向性を検討したいと考えています。

2. 内容

- ①名称 安浦町まちづくりワークショップ
- ②主催 安浦町まちづくり協議会 事業企画部会
- ③会場 安浦公民館 中会議室
- ④期日 平成20年11月25日(火)～1月13日(火) 4回シリーズ
- ⑤時刻 ワークショップ 18:30～21:00(予定)
現地の散策 13:30～17:00(予定)
- ⑥参加者 80名程度(@20名/地区×4地区)
※4地区とは「三津口」「内海」「野路」「安登」とします
※参加者の募集はチラシを作成し配布するとともに、まち協メンバーをじて参加者を募ります

3. 回時と内容

回	期日	内容
1	11月25日 (火)	テーマ : 安浦町の長所と短所を知ろう! 進め方 : ワークショップ グループ : 4地区(三津口, 内海, 野路, 安登)に分かれて進行
2	12月6日(土)	テーマ : もっと安浦を知ろう 進め方 : フィールドワーク(現地を歩いてみよう!) グループ : 4地区(三津口, 内海, 野路, 安登)に分かれて進行
3	12月16日 (火)	テーマ : 10年後の安浦はどうなっていてほしい!? キャッチフレーズ 進め方 : ワークショップ グループ : 4地区(三津口, 内海, 野路, 安登)に分かれて進行
4	1月13日 (火)	テーマ : 振興方針(活動の柱)を企画しよう! 進め方 : ワークショップ グループ : 4地区(三津口, 内海, 野路, 安登)に分かれて進行

第1回

内海地区

安浦町まちづくりワークショップ

良いところ

自然

- ・海と山の産物が一緒に楽しめる
- ・ホテルの里がある
- ・白魚をはじめ海産物が美味しい
- ・いちじく、うなぎが有名
- ・新鮮な野菜があるが知られていない

その他

- ・寺社、仏閣が多い
- ・農業と漁業が町内にある
- ・車が混まない(渋滞がない)
- ・歴史的価値のある施設が多い
- ・まちがきれい
- ・グリーンピアせとうちがある

景観

- ・桜の名所(野呂川ダム等)
- ・野呂山からの景色は絶景
- ・コンクリート船は地味だが特色がある
- ・三津口の農面道路からの景色は安浦らしい
- ・野呂山からみた景色は心が洗われる
- ・休耕田を利用した「ひまわり畑」は集客力がある

人

- ・人が優しい
- ・人情あふれるまち(となり組)

課題

PR

- ・自分のまちの良さを知らない人が多い
- ・知名度が低い
- ・まちに関する情報量が少ない
- ・町民間の情報伝達手段がない
- ・まちの目玉(キャッチフレーズ)がない

その他

- ・ごみの捨て方がバラバラ
- ・ポイ捨てが横行している
- ・まちづくりに関する予算が少ない(自主財源の確保が難しい)
- ・公共交通機関の便数が少ない

人材

- ・視野が狭い
- ・閉鎖的なところがある
- ・町内の行事に格差が出てきている
- ・地域の協力体制がとれないことがある

治安

- ・夜になると町内が暗い(街灯など)
- ・歩道が狭い
- ・歩いている人を見かけなくなった

第1回

三津口地区

安浦町まちづくりワークショップ

良いところ

自然

- ・海と山に囲まれている
- ・海の幸(かき等), 山の幸(農作物)が有名
- ・天然のホタルの生殖地(呉で唯一)
- ・三津口湾のアマモは日本一

その他

- ・寺社, 仏閣が多い
- ・農業と漁業が町内にある
- ・グリーンピアせとうちは集客力(プール等)がある
- ・八十八か所巡りが三津口でもできる
- ・柏島大祭(6月)は瀬戸内3大管弦祭のひとつ

景観

- ・桜の名所(野呂川ダム等)
- ・野呂山からの景色は絶景
- ・コンクリート船は地味だが特色がある
- ・三津口の農面道路からの景色は安浦らしい

課題

PR

- ・隠れた名所, 旧跡が多いが知られていない
- ・町内の動き(催事など)が分からない

交通

- ・JRの便数が少ない
- ・車がないと不便
- ・車を持たない人は不便

治安

- ・国道をはじめ, 夜になると町内が暗い(街灯など)
- ・事件が多い
- ・高潮が気になる

人材

- ・少子化が著しい
- ・子供が少なく, 学校まで遠い(小中学校)
- ・各種行事に若い世代の参加者が少ない
- ・近所つきあいが希薄になってきた

その他

- ・地元にながら, 安浦の魚を食べるところがない
- ・病院が少ないため不安
- ・県道の空き地に不法投棄が横行している
- ・各種団体の活動資金が不足している

第1回

安登地区

安浦町まちづくりワークショップ

良いところ

自然

- ・星がきれい
- ・空気が澄んでいる
- ・自然が豊か
- ・桜の名所(野呂川ダム等)

人

- ・人情深い
- ・高齢者が元気
- ・活動が積極的
- ・近所のつきあいがある
- ・マンパワー(特に女性)があるまち
- ・子どもたちは少ないが「あいさつ」ができる

その他

- ・寺社、仏閣が多い
- ・農業と漁業が町内にある
- ・安登運動公園は利用率が高い(活気がある)
- ・日本一短い県道は隠れた財産
- ・休耕田利用は地域の連携と誇りになっている

課題

施設

- ・スーパー、コンビニがない
- ・病院が少ないため、高齢者には不安
- ・他町で買い物をする人が増えた

交通

- ・JRの便数が少ない
- ・車がないと不便
- ・市営バスがないため、高齢者には不平等(100円+α)
- ・国道等で交通量が多く、横断が難しい

治安

- ・国道をはじめ、夜になると町内が暗い(街灯など)
- ・事件が多い
- ・駐在所と地域の関係が希薄(留守が多く、交流もない)

人材

- ・少子高齢化のモデル(団地など)
- ・子供が少なく、学校まで遠い(小中学校)
- ・世代間で交流する機会が少ない
- ・若い世代の積極的な参加がない
- ・町内レベルの情報共有ができていない

その他

- ・呉市内で東の端というイメージ
- ・活気がほしい
- ・猪はあまり出ないが、野良犬が多い
- ・子ども達の遊ぶ姿をあまり見かけなくなった
- ・ペットボトル、カン等のポイ捨てが多い

第1回

野呂地区

安浦町まちづくりワークショップ

良いところ

自然

- ・清流がある
- ・ホテルが飛び交うまち
- ・自然が豊か
- ・騒音(車など)がない
- ・山と海が隣接している
- ・三本松公園は野呂山の入口

食べ物

- ・おいしいお米
- ・安全、安心な食べ物
- ・水がきれい
- ・四季折々の花が咲く
- ・野呂川の清流が農作物、カキに好影響を与えている

気力

- ・高齢者が元気
- ・安浦人は親切
- ・コミュニティー(近所つきあい)がある
- ・朝市をやっている高齢者が多い

海

- ・安浦かきが有名(美味)
- ・釣りができる

その他

- ・JRが通っているので便利
- ・歴史ある史跡が多い
- ・町内にグリーンピアせとうちがある
- ・昔から広島国際大学との連携がある

課題

施設

- ・総合病院がない
- ・若者向けの店(飲食・雑貨など)がない
- ・コンビニが少ない
- ・食べるお店が少ない

交通

- ・JRの便数が少ない
- ・車がないと不便
- ・街灯が少ない→治安悪化
- ・町域が広いため、不審者が入りやすい

イベント・PR

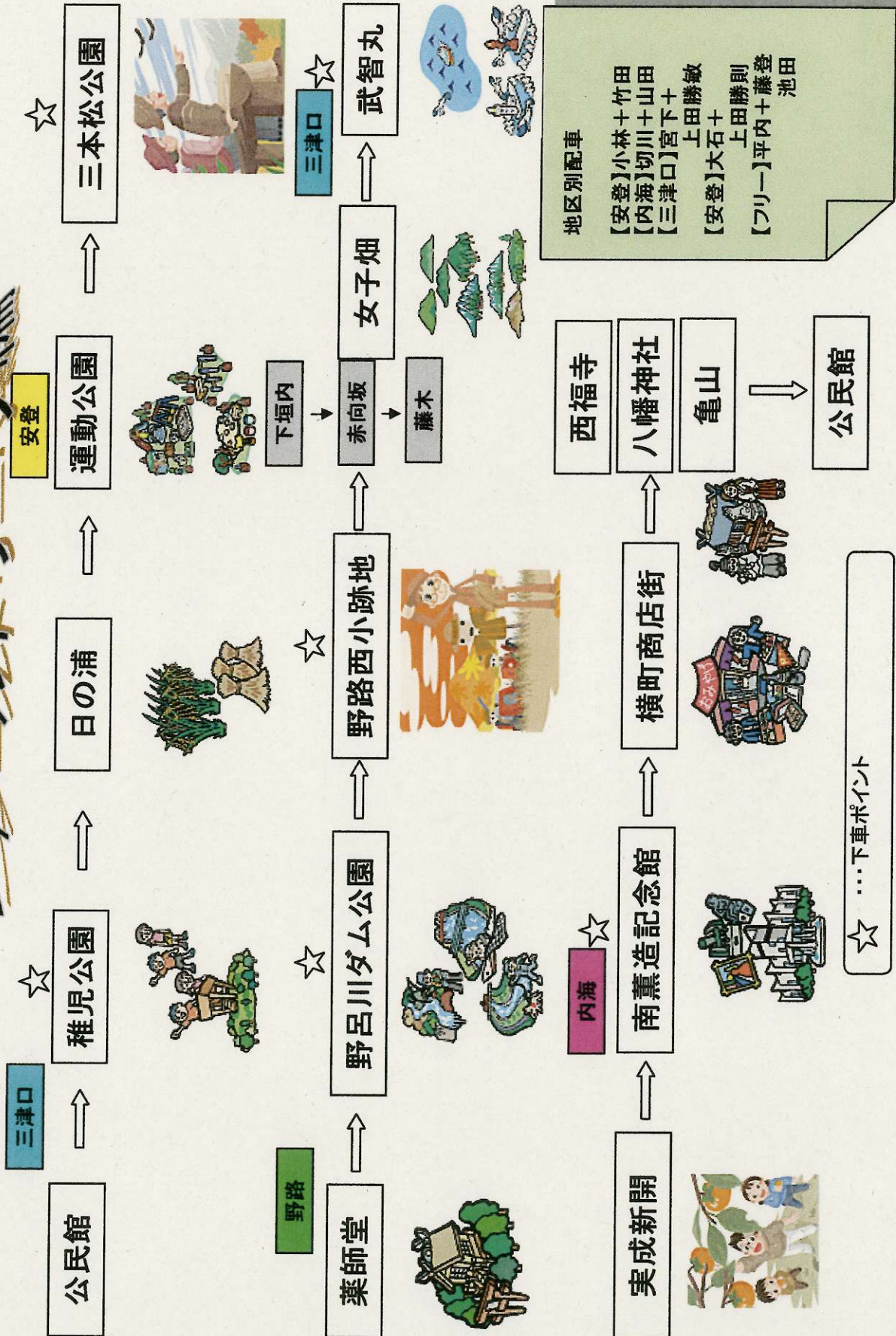
- ・昔からの行事に既成概念が残る
- ・各団体間やイベントの連携がない
- ・史跡、イベントなどのPR(露出)が少ない
- ・グリーンピアせとうちとの連携不足
- ・各種情報の共有が図れていない

その他

- ・いのしし被害が多発(農作物)
- ・休耕田が多い
- ・次代の担い手(若い世代)不足
- ・一部閉鎖的なところがある(村意識)
- ・県道の空き地に不法投棄物が多い

第2弾 安浦町まづくりワークショップ

フィールドワーク編



第3回

内海地区

安浦町まちづくりワークショップ

10年後の安浦町はどうなるの？

食料・農業

- ・食料自給率は20%台になっている
- ・農業人口が減少している
- ・地産の農作物が貴重な存在になっている
- ・地産地消が今よりもっと浸透している
- ・安浦の特産品を活かした食堂ができています

そのためには？

シニアパワーを活かす場として、郷土料理や安浦の特産品を活かした食堂を運営する(廃校の跡地を利用する)

小学校跡地を利用し、高齢者が農業指導(農業体験)できる環境を整備する

自然環境

- ・野呂川公園の桜が「日本の桜100選」に選定されている
- ・休耕田を活かした花畑が増えている
- ・猪が多く、農地が荒らされている
- ・海の公園が出来ている
- ・安浦全体が花見の名所となっている

そのためには？

- 「自然環境を愛する会」の設立
- 「花の咲かせる会」の設立

交通

- ・道路の幅が広がっている
- ・JRの便数が少なくなっている
- ・高齢者は困るが、循環バスは利用者が少なくなる

そのためには？

NPO団体による、ボランティアタクシー(8人乗りワゴン)による巡回

人口

- ・民間アパートの増加により、若い世代が転入している
- ・子育て環境が整備されている
- ・高齢者の独り暮らしが増え、弁当を配布するようになる
- ・自然環境が良いので子育てにはいいところになっている

そのためには？

子どもが伸び伸び明るく活動できるサークルの設立
小学校の空き教室を利用した子育てサロン(民間)の設立(NPO)

施設

- ・グリーンピアせとうちは地元の人間で賑わう
- ・小中学校は少子化により統廃合されている
- ・農地が宅地に造成され、アパートが増加する
- ・世代間交流の拠点施設ができています
- ・福祉施設が充実している

そのためには？

グリーンピアせとうちと地元連携の一環として、社外モニター制度を導入する

長寿の方々の意見を取り入れた健康相談室の開設

第3回

三津口地区

安浦町まちづくりワークショップ

10年後の安浦町はどうなってるの？

海

- ・かきの生産が日本一になっている
- ・かき祭が全国的に有名になっている
- ・海がキレイになり、スナメリやカブトガニの生息地
- ・海岸沿いに「海の家(交流広場)」ができています

そのためには？

栈橋(三津口)の利活用を検討
○海の清掃活動の定着化
○海をテーマとする体験メニュー化
→修学旅行の受入れ(Gせとうちとタイアップ)

地域の状況

- ・コンビニが溜まり場となり、治安悪化
- ・地域活動をする人が減少し、活気がなくなる
- ・町の情報(イベントなど)が分かなくなる
- ・少子化により小学校が統廃合される
- ・町内バスが人工減により運行されない

そのためには？

市民で作成する広報誌！
(イベント情報、町で活躍する人などを掲載)

大人同士の連携強化
(PTA、子ども会、自治会など)

自然環境

- ・ホテルを見る場所が整備されている
- ・休耕田が増えている
- ・農業などの担い手が減少している
- ・農作物がブランド化されている
- ・景勝地のトイレやベンチがいつもキレイになっている

そのためには？

○「ホテルの里を守る会」の設立
○JAや農業者を先生とする農業学校の設立
○「自然環境を守る会」の設立

PR

- ・誇れる資源をPRできない(ノウハウがない)
- ・新しい特産品、新しい観光名所ができています
- ・ヨット部などの艇倉庫が建ち、湾内で練習している
- ・スポーツが盛んな地域となっている

そのためには？

町の資源(宝)を発掘し、町民全体で共通認識を図る機会が必要

産業・建物

- ・空き家が増加している
- ・マンション、アパートが増える
- ・ファミレ、ファーストフード、コンビニの乱立
- ・大手企業の進出
- ・郊外型ショッピングセンターの参入

そのためには？

新たな雇用創出と人口増加に対応するため、「安浦らしさ(特徴)」の確立

第3回

安登地区

安浦町まちづくりワークショップ

10年後の安浦町はどうなるの？

人口

- ・高齢者が増える
- ・医療が発達し、寿命が延びている
- ・全体的に人口が減少している
- ・就学人口が減少している
- ・学校などは統廃合されている

そのためには？

高齢者に呼びかけ、各種ボランティアグループを作る(人材ネット)
○植林、河川の清掃、介護補助など
○廃校となった学校の利活用

地域関係

- ・高齢者による休耕地開発隊ができています
- ・元気な高齢者がパワーを発揮する(町が元気)
- ・農地の新たな担い手が出ている
- ・山岳地帯が開墾されている
- ・世代間交流が盛んになってきている
- ・清掃等のボランティア活動が活発で町がキレイ

そのためには？

人が生き生きと元気なるためには、「人と人を結びつける仕掛け人」が必要

高齢者と若い世代との交流が図れる機会を持つことが大切

交通

- ・人口減少などの要因により、JRが減便される
- ・車社会の進展により、国道185号線が慢性的に渋滞
- ・市道などの道幅は、今より拡幅されている
- ・山道、里道は公共的な整備はされなくなる

そのためには？

高齢者の運転は危険なので、効果的な循環バスの活用を検討

観光

- ・三津口の埋立地に道の駅がオープン
- ・ホテルの名所となっている
- ・公園や展望台が整備されて利用者が増加
- ・野呂川ダムに猪公園がオープン

そのためには？

公園や眺望がいい場所の環境保全と基盤整備(トイレ・ベンチなど)が必要

建物

- ・空き家が増加している
- ・マンション、アパートが増える
- ・病院や福祉施設が増えている
- ・コンビニが乱立している(各地区に1ヶ所づつ)

そのためには？

Uターン、Iターンまたは定住対策として空き家を利活用できるようにする

第3回

野路地区

安浦町まちづくりワークショップ

10年後の安浦町はどうなってるの？

観光

- ・いろいろな場所でホテルをみることができる(山・海)
- ・安浦の物が食べる店ができている
- ・安浦物産館(仮称)ができている
- ・「自然」「食べ物」などが自慢できるまちになっている

そのためには？

四季折々の景勝地などを載せた観光マップの作成

観光ボランティアを育成し、グリーンピアせとうちに来館される方を町内案内をする

環境・農業

- ・野呂川公園に四季折々の花が咲くようになっている
- ・休耕田が増えている
- ・海と山の体験がメニュー化されている
- ・地産地消が進展している
- ・食料不足が深刻化し、農業人口が増加する

そのためには？

体験メニューの体系化
海...漁業体験, 山...農業体験

休耕田活用団体の育成

施設

- ・道路が拡幅されている
- ・大きな病院が建つ
- ・バスの便数が増えている(高齢者の需要拡大)
- ・小学校は統廃合されている
- ・屋外トイレが町中にある

そのためには？

高齢者が安心して住める地域を目指す

観光施設をはじめ、町内のトイレをキレイにするための団体育成を図る

人口

- ・少子化が深刻化している
- ・限界集落が増加している
- ・高齢化が進展し、介護事業の全盛期となる

そのためには？

限界集落を改善するため、地域内での結束を高めることが大切
○自治会組織+社協組織

社会福祉協議会とタイアップし介護ボランティアを育成する

第4回

安浦町まちづくりワークショップ

まちづくりの振興方針(活動の柱)

野路地区

NO.	テーマ(分野)	振興方針(具体的な活動内容など)
1	自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の里山の保護 ○休耕田の活用 ○棚田を利用した体験学習 ○山の「緑」と海の「青」を小学生に伝える(体験学習的な要素)
2	安心・安全 (有機農業)	<ul style="list-style-type: none"> ○有機作物のブランド化 ○安心・安全な農作物のマニュアル作成 ○貸農園的な手法による農業体験と自給率アップ作戦
3	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ○パンフレット(マップ)の作成 ○史跡・名所へのアクセス看板の設置 ○「ホテルの里」へ誘導, 観賞場所の確保(駐車場など)
4	世代間交流と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○限界集落に対応した自治会組織等の再編成 ○廃校を利用した世代間交流 ○各種団体間の交流

まちづくりの振興方針(活動の柱)

内海地区

NO.	テーマ(分野)	振興方針(具体的な活動内容など)
1	広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ○広報誌の作成(「きらきら」のような町内向けの広報誌) ○安浦の自然, 特産品などをタウン情報誌を通じて発信 ○「安浦スポークスマン」を設置し, 町外へ発信する
2	地域食	<ul style="list-style-type: none"> ○知産知食(安心・安全な食材)の推進(学校給食など) ○安浦の郷土料理の検証, 食べるお店の検討 ○安浦特産品(かき, 野菜, 米, いちじくなど)のブランド化
3	自然環境の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○ホテルの里の整備 ○野呂川の清掃活動の充実 ○里山の保全活動
4	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ○自然とふれあう観光ツアーの造成 ○Gせとうちと連携し体験学習(漁業体験, 農業体験など)の充実 ○パンフレット, マップの作成・充実

第4回

安浦町まちづくりワークショップ

まちづくりの振興方針(活動の柱)

安登地区

NO.	テーマ(分野)	振興方針(具体的な活動内容など)
1	自然環境の保護	○ホテルの里の整備 ○安浦の自然(海と山)の保全活動の充実 ○海と山の清掃活動の充実
2	観光振興	○観光ボランティアの育成 ○パンフレット・マップの充実 ○特産品のPR
3	建物・施設	○コミュニティー施設(自治会館など)の充実 ○子育てがしやすい環境整備 ○近所同士が集まる場所の復活
4	世代間交流	○シニア層とミドル層が交流できるイベント, 場所などの設定 ○老人福祉施設へ中高生の体験学習を実施

まちづくりの振興方針(活動の柱)

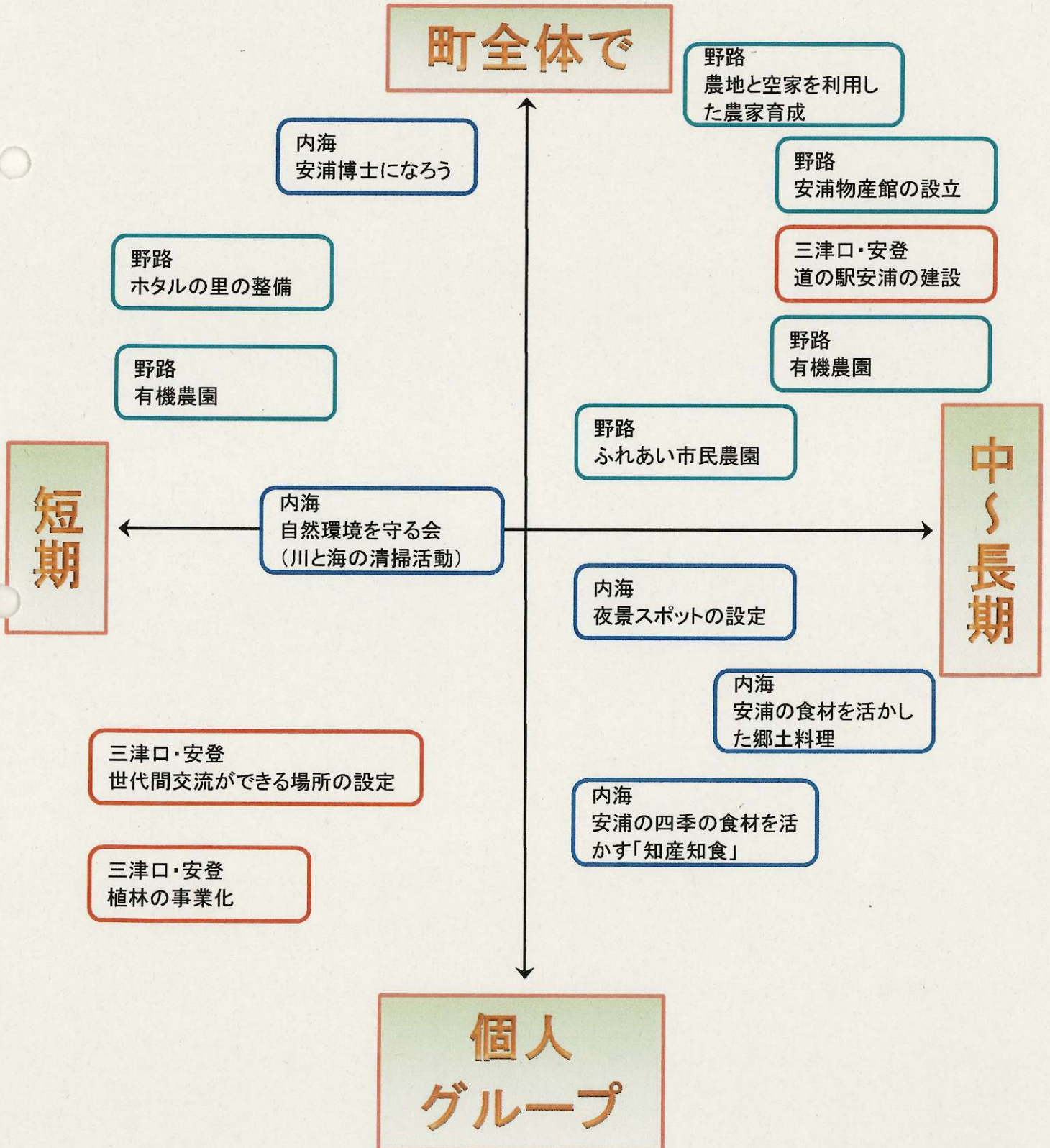
三津口地区

NO.	テーマ(分野)	振興方針(具体的な活動内容など)
1	自然環境の保護	○体験学習(漁業, 農業)のメニュー化 ○海の清掃活動の充実 ○OGせとうちとタイアップした自然学習
2	観光振興(情報発信)	○特産品のブランド化と内外へのPR ○町内在住者を対象に広報誌の作成 ○各種イベントの関連とスタッフの充実
3	建物・施設	○空き家の再利用した新しいコミュニティー ○まち普請的な要素で施設の維持補修
4	世代間交流	○世代間, 団体間の連携を密にする ○限界集落の統合・再編 ○人材育成(若手との交流)の手法検討

第4回

安浦町まちづくりワークショップ

各地区における施策の分類

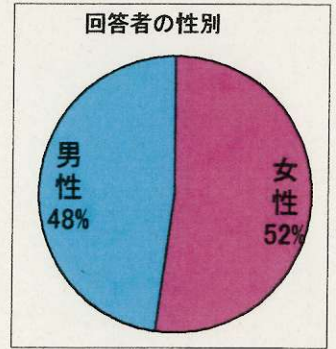


VI 安浦町まちづくり市民意識調査（抜粋）

皆様に御協力いただきました当該調査において、以下の結果を得ることができましたのでお知らせいたします。

今回のアンケート調査において、貴重な自由意見をたくさんいただいております。それを基に分析・研究の上、安浦町まちづくり計画策定に反映させていきたいと考えております。

今後とも、安浦町のまちづくり活動に御協力よろしく申し上げます。ありがとうございました。



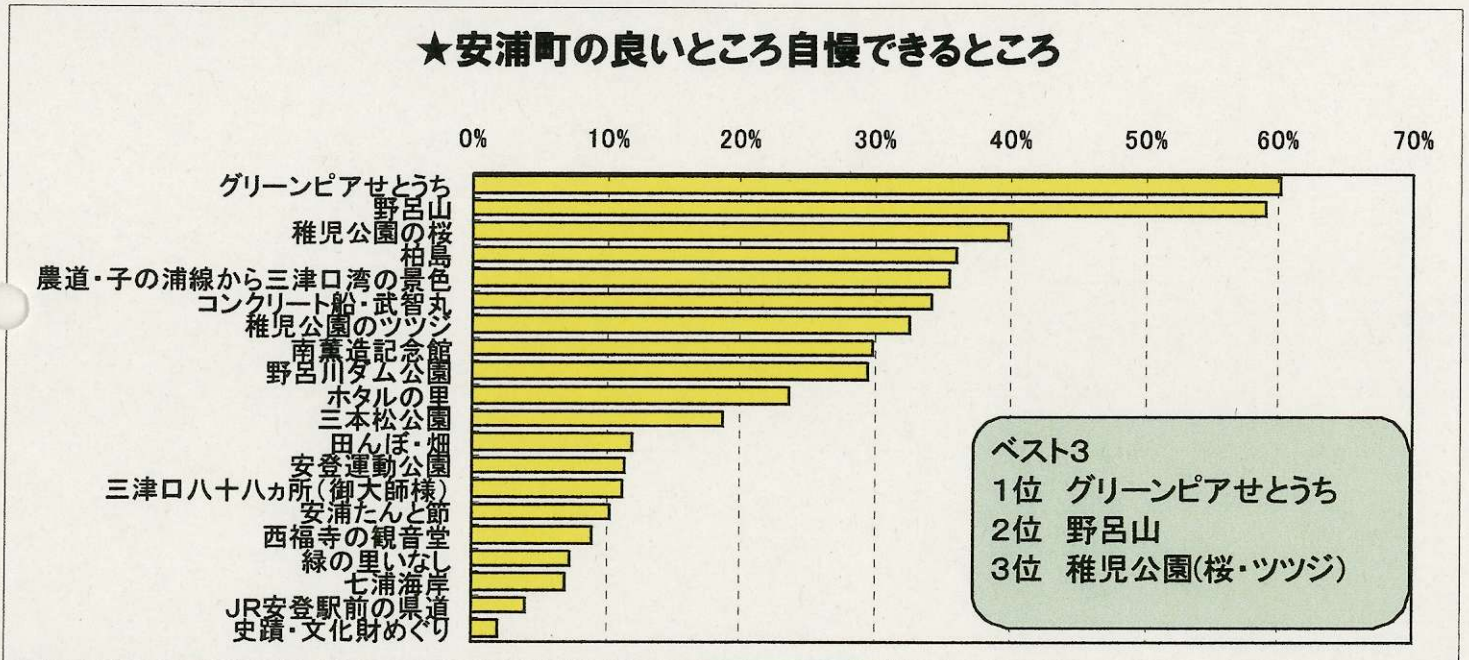
- ・配布世帯件数：4,417件
- ・回収世帯件数：2,612件（回収率：59%）
- ・実施期間：平成21年1月13日（火）～1月31日（土）

【回答世帯数及び割合】

①性別

	町全体		内海		三津口		野路		安登	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
女性	1,363	52.2%	437	54.4%	377	58.6%	194	49.4%	355	45.9%
男性	1,249	47.8%	366	45.6%	266	41.4%	199	50.6%	418	54.1%
合計	2,612	100.0%	803	30.7%	643	24.6%	393	15.0%	773	29.6%

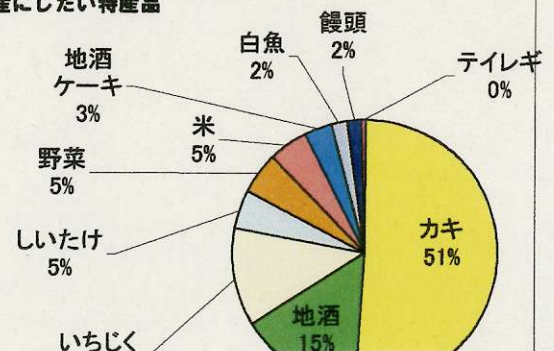
★安浦町の良いところ自慢できるところ



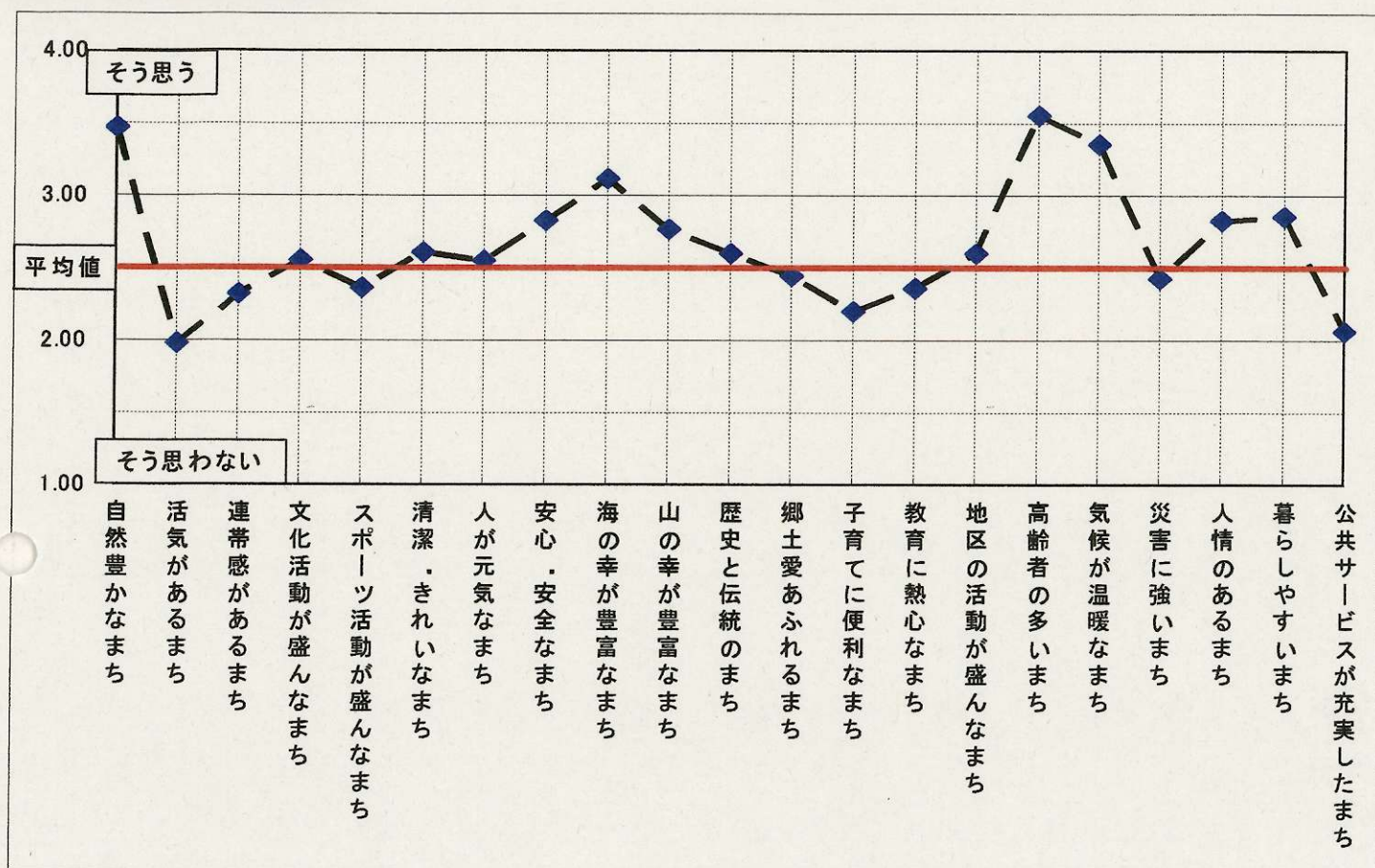
★お土産にしたい特産品は？（トップ3♪）

- ベスト3
- 1位 カキ ……51%
 - 2位 地酒 ……15%
 - 3位 いちじく ……12%

★お土産にしたい特産品



★安浦町のイメージ



※右の折れ線グラフは、「そう思う（4点）」、「どちらかというそう思う（3点）」、「どちらかというそう思わない（2点）」、「そう思わない（1点）」と換算して集計した平均値

安浦町の現在の特色として・・・

【当てはまると思う】

- ・自然が豊かなまち
- ・海の幸が豊富なまち
- ・山の幸が豊富なまち
- ・清潔・きれいなまち
- ・安心・安全なまち
- ・高齢者の多いまち
- ・気候が温暖なまち
- ・文化活動が盛んなまち

【あまり当てはまらないと思う】

- ・活気があるまち
- ・子育てに便利なまち
- ・公共サービスが充実したまち
- ・教育に熱心なまち
- ・スポーツ活動が盛んなまち
- ・連帯感があるまち

★ボランティア活動に参加した方の状況

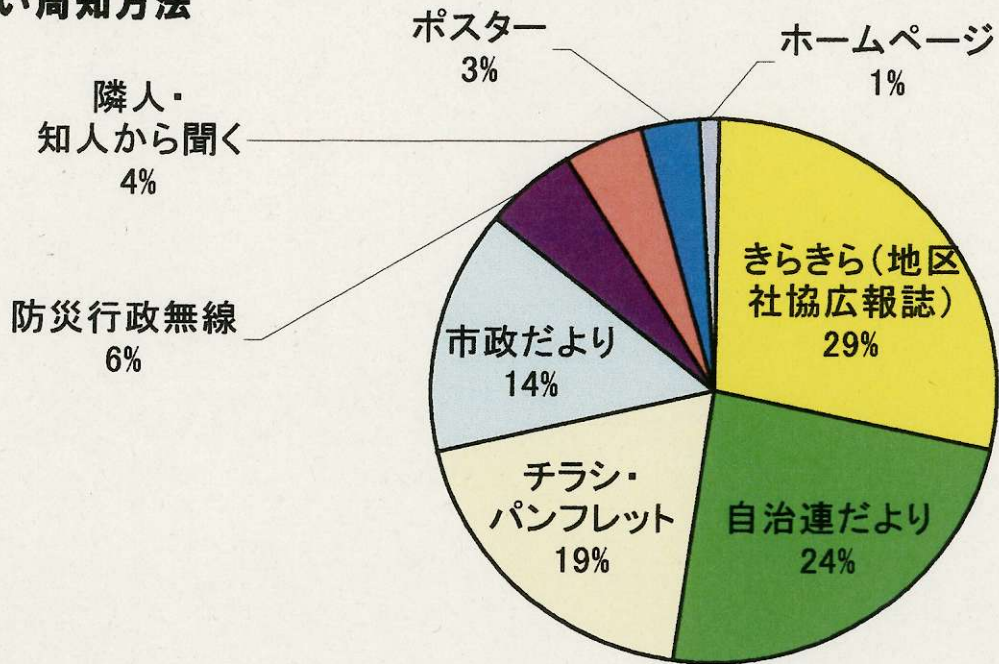
（特に活動者数が多かった活動 トップ5）

1位	ゴミ分別の徹底	・・・17%
2位	地域清掃活動	・・・16%
3位	安浦ええとこ祭りへの参加	・・・15%
4位	自治会活動	・・・11%
5位	安浦夏まつりへの参加	・・・10%

★好ましい周知方法【情報収集の手段】

- 1 きらきら（地区社協広報誌） . . . 29%
- 2 自治連だより . . . 24%
- 3 チラシ・パンフレット . . . 19%

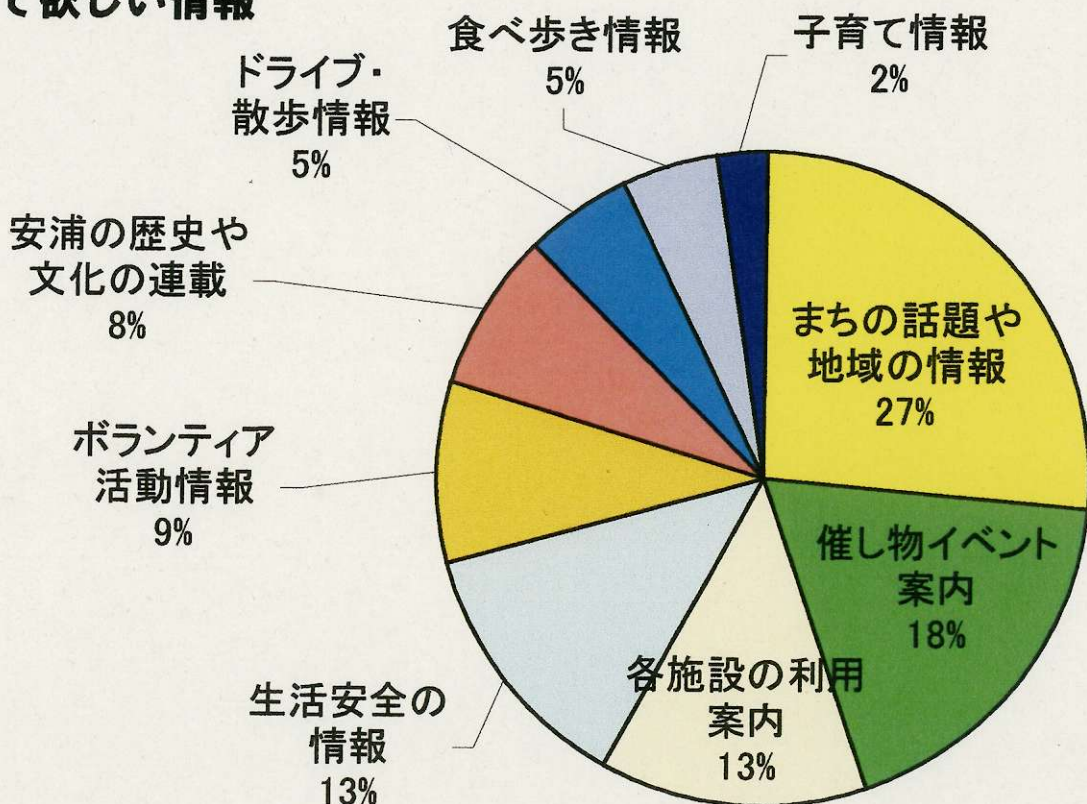
★好ましい周知方法



★提供して欲しい情報

- 1 まちの話題や地域の情報 . . . 27%
- 2 催し物イベント案内 . . . 18%
- 3 各施設の利用案内・生活安全の情報 . . . 13%

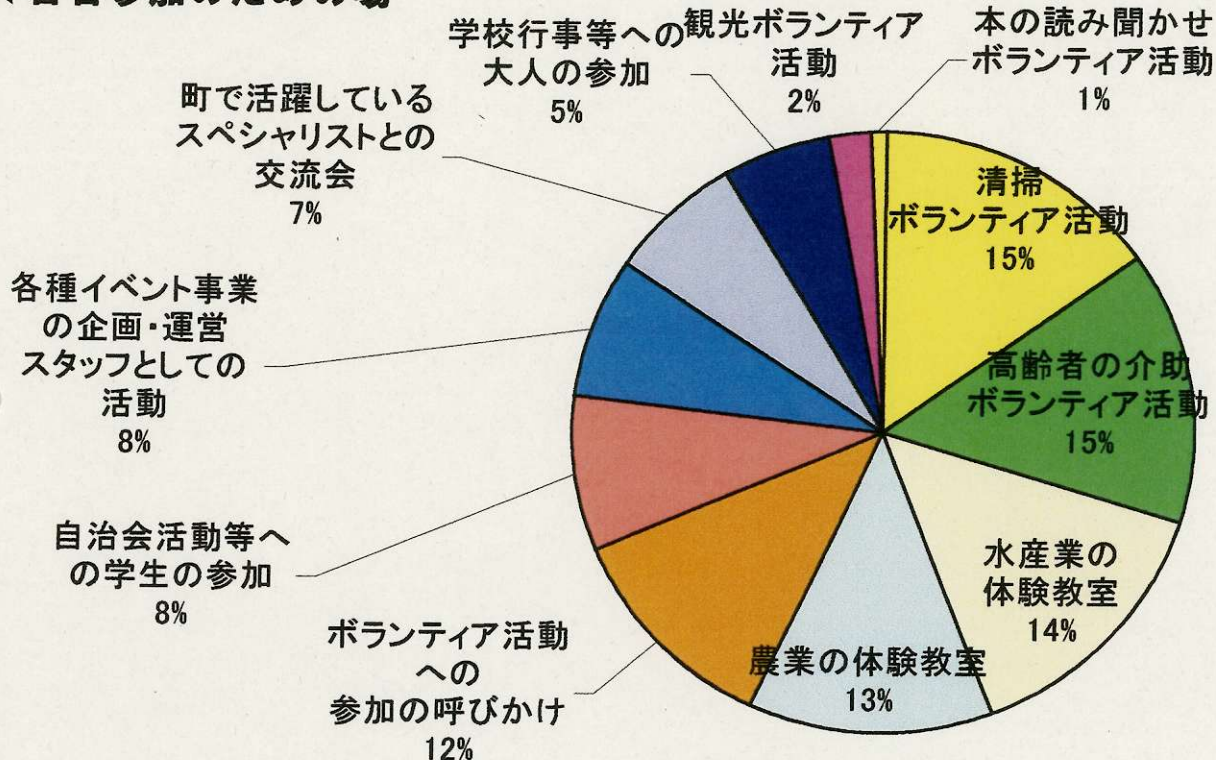
★提供して欲しい情報



★若者参加のための場として、どんなことが必要か

- 1 清掃ボランティア・高齢者の介助ボランティア活動 . . . 15%
- 2 水産業の体験・農業の体験 . . . 14%
- 3 ボランティア活動への参加の呼びかけ . . . 12%

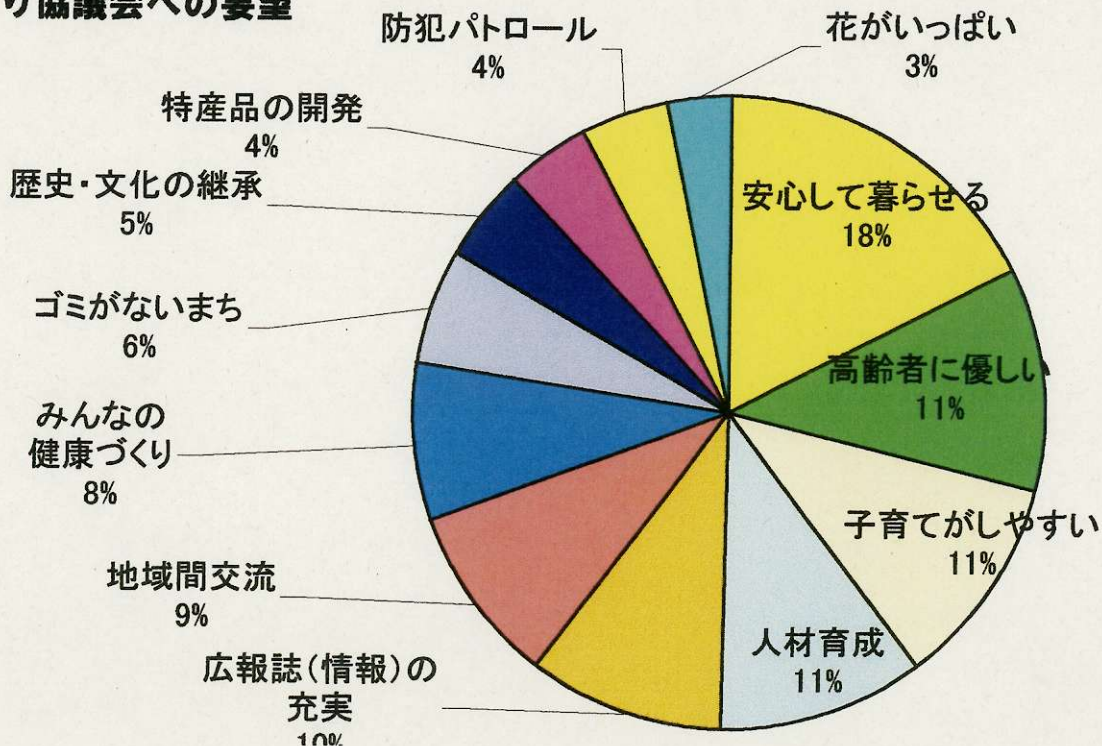
★若者参加のための場



★まちづくり協議会への要望

- 1 安心して暮らせる . . . 18%
- 2 人材育成・子育てがしやすい・高齢者に優しい . . . 11%
- 3 広報誌（情報）の充実 . . . 10%

★まちづくり協議会への要望



VII 安浦町まちづくり振興方針のフレームと内容

1. 振興方針(テーマ), 具体的な活動方針】

振興方針(テーマ)	具体的な活動内容	実施主体	実施時期
環境保全・保護	ホテルの住む川づくり	まち協, 野呂川事務局, ボランティア	すぐ
	花いっぱい運動の推進	自治会, ボランティア団体	すぐ
	里山の整備・植樹	公衆衛生推進協議会, 自治会, ボランティア	すぐ
	自然の観察会(動植物)	公衆衛生推進協議会, 地域の有識者	すぐ
	アマモの保護 (清掃活動, 体験, 見学など)	漁業従事者, ボランティア	すぐ
	河川流域の環境づくり	公衆衛生推進協議会, ボランティア	すぐ
	不法投棄の監視	自治会, 呉市, 警察	すぐ
	放置ゴミの清掃活動	公衆衛生推進協議会, ボランティア	すぐ
農・水振興事業 宿泊体験	休耕田活用	各種活動団体	1年後
	体験施設の充実	農業従事者 漁業従事者	3年後
	修学旅行誘致 (体験型・研修の充実)	農業従事者 漁業従事者	3年後
	身近な野菜づくり (貸し農園, アドバイザー制度)	農漁業従事者有志 JA	1年後
	空き家対策	呉市定住対策室 自治会	3年後
	人口増に向けた定住対策	呉市定住対策室 自治会	3年後

振興方針(テーマ)	具体的な活動内容	実施主体	実施時期
情報発信広報活動 (町内・町外)	情報誌の発行 (きらきらのようなモノ)	観光協会, まち協など	すぐ
	史跡・旧跡へのアクセス看板の設置	観光協会, まち協など	1年後
	まち歩きマップの作成	観光協会, まち協など	すぐ
	HP, ブログの開設	まち協など (PCに詳しい退職者など)	1年後
	特産品パンフレットの作成	特産品協会, まち協など	すぐ

地域食(知産知食)	地域食の開発とブランド化	生産者, まち協, 商工会, ライオンズなど	1年後
	郷土料理の検討	農業関係者, 漁業関係者など	1年後
	販路の拡大 (食べることができる店)	まち協, 商工会, ライオンズ, 地域の食堂	1年後
	料理教室の開催	婦人部, 育む会, 公衛協	すぐ
	パンフレットの作成	地区社協, 商工会, まち協	すぐ
	物産館(仮称)の建設 ※道の駅のようなもの	まち協, 商工会, ライオンズなど	5年後

人づくり (人材育成)	地区別ボランティアの育成	まち協, 自治会など	すぐ
	結成ボランティアの交流	まち協, ボランティア団体	すぐ
	各種団体間の交流	まち協, 各種団体など	すぐ
	子ども達との交流 (イベント, 自治会活動など)	各自治会, まち協など	すぐ
	地域で特技・趣味・経験豊富な 人材発掘	有志	すぐ
	市民交流館(仮称)の設立 (統合後の空校舎などを利用)	まち協, 自治会, 各種団体	3年後

振興方針(テーマ)	具体的な活動内容	実施主体	実施時期
健康増進活動事業	ウォーキングマップの作成・広報	まち協, 歩こう会, 保健所	すぐ
	町内運動会の開催	体育協会, 自治会, 保健所	3年後
	スポーツによる世代間交流	体育協会, 自治会, 保健所	1年後
ふれあいの場	竹細工, ワラ細工	各地域の有志	すぐ
	ケナフの工房	グリーンピアせとうち, 有志	すぐ 1年後
	とんどの作り方指導	自治会有志	すぐ 1年後
	各地域の祭り(権伝馬など)	自治会, 氏子	すぐ
	陶芸教室	友愛大学, 有志	すぐ
	各種イベントの推進体制整備	商工会, 観光協会, 各自治会, まち協	すぐ
防犯・防災活動 (安心, 安全)	あいさつ運動の推進	町全域(まち協, 補連協など)	すぐ
	外灯の増設	各自治会	3年後
	避難訓練の定例化	各自治会, 消防団など	1年後
	独居老人・認知症サポーター支援	民生委員, 社協, 補連強など	1年後
	サロン活動の充実・連携	地区社協, 各自治会有志	すぐ
交通基盤の整備	交通弱者の外出支援活動	安浦交通, 呉市, JR	10年後
	バス, JRの増便	呉市, JR, 自治会	10年後
	道路の拡張整備	呉市, 国, 県, 自治会	10年後

2. 事業の概要

事業名	環境保全・保護
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・河川流域(野呂川, 中切川, 中畑川など)の環境づくり ・春は白魚, 夏はホタル, 秋は彼岸花, 冬は朝霧 ・集客力アップ ・環境美化意識の向上 ・自然の観察会(山から海まで動植物)
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・安浦地区公衆衛生協議会 ・各地区の有志
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・山, 川, 海浜への心ないゴミの投げ捨て, 不法投棄などが目立つ ・ホタルの数が, 昔に比べて減少している ・柏島や三津口湾への家庭ゴミの漂着が目立つ(海や川へのゴミの投棄) ・子どもたちの生物に対する興味関心, 知識を高める必要性 ・遊びの中で学習することの重要性 ・ゴミのポイ捨てなどにより, 景観や環境が悪化 ・花いっぱい町 ・温暖化 ・テイレギの繁殖地減少

事業名	農・水振興事業・宿泊体験
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在, 休耕田となっている土地の有効活用 ・農業・漁業・林業の体験メニュー充実 ・修学旅行の誘致(グリーンピアせとうちとの連携) ・実際に従事している方(農業・漁業)から指導を受け, 次世代担い手発掘 ・安浦町への定住促進 ・空き家対策
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の里いなし運営協議会 ・安浦, 自然と環境を育む会 ・安浦漁業協同組合 ・各自治会
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の農, 漁業担い手育成の必要性あり ・安浦町産の野菜をPR ・家族で休日を過ごす機会の減少に歯止めをかけたい ・緑の里いなし運営協議会では, 既に貸し農園や農業体験の実績あり ・休耕田の増加→有効活用へ ・各地区にある空き家の有効活用が出来ていない ・農, 漁業体験の指導者が必要 ・若者の学習の場が必要となる

事業名	情報発信広報活動(町内, 町外)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとのお宝再発見 ・タイムリーな情報発信 ・町の情報刊行誌発行
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・安浦町観光協会 ・各自治会 ・呉市広域商工会安浦支部
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・安浦町のタイムリーな情報が得られない ・イベント情報, 町の話題など興味のある情報が載った刊行誌が欲しい ・世代, 地域, 性別に応じた最適な広報の必要性 ・町外からの観光客向けの観光マップの必要性 ・観光スポットはありながらも, アクセス看板などが充実していない ・各種団体同士の横の連携, 連絡がとれていない

事業名	地域食(知産知食)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力の向上 ・特産品の販路拡大とブランド化 ・外部に向けた安浦町のPR ・各地域で自慢の一品を提供する地区会を開催 ・地産地食の推進 ・各地域での料理教室開催
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人部(呉市広域商工会安浦支部, 安浦漁業協同組合, 安浦農業協同組合) ・安浦町特産品協会 ・安浦町ライオンズクラブ ・安浦町朝市協会 ・広島県環境保健協会地域支援課 ・地元飲食店
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元特産品のPR不足 ・特産品があっても, それがどこで食べられるのかわからない ・既存のレストランなどで, 安浦町の野菜や海産物を使った自慢の一品が食べたい ・安浦町独自の料理が欲しい(「おふくろの味」「我が家のお持てなし料理」などを募集してみてもどうか) ・地域での料理教室などの機会不足

事業名	人づくり(人材育成)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女の交流の場づくり ・各種サークルの交流の場づくり ・他地域(町内外)との交流をとおり、多くの視点を持つ ・各部門におけるカリスマ的人材発掘(趣味、特技、経験からの指導者)
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・友愛大学 ・安浦生涯学習財団
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してみたい気持ちはあるが、方法がわからない ・自分に適した活動がわからない ・年齢や性別、趣味特技に応じたまちづくり活動の機会が少ない ・活動を活かす場がない

事業名	健康増進活動事業
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な身体づくり ・ウォーキングを通し、安浦町内のいい景色発見
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・安浦町体育協会 ・歩こう会 ・PTA ・保健所
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが健康元気なまち」という意識が高い (※市民意識調査による)にも関わらず、運動の機会や場がない ・健康体操教室の開催日程等がわからない ・活気がない ・ウォーキングマップが欲しい

事業名	ふれあいの場
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・竹細工やワラ細工, 昔の自然を使った遊びの体験講座(先生は地元の高齢者) ・ケナフ工房(グリーンピアせとうちに機材あり)の活用 ・ふるさとの思い出づくり ・子どもたちの創造性を育む機会の創出 ・とんどの作り方 ・陶芸教室 ・ええとこ祭り, 夏まつりの推進
事業主体	・各地区の有志(趣味, 特技のある方を講師に)
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れ合う機会づくりの必要性 ・子どもたちの創造性を育む機会の創出 ・伝統, 文化の継承の必要性

事業名	防犯・防災活動(安心, 安全)
概要	<p>『あいさつ運動からはじめよう!!』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の推進により, 笑顔で明るい地域づくり「声かけ」から! ・日頃から, 隣近所との関係を密にすることで, 防犯・防災に寄与する
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの心掛け(みんな) ・自治会(防犯, 民生, 補連協) ・PTA ・こども会 ・警察, 消防, 消防団
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・30~50代の, いわゆる働き盛りの世代を中心に挨拶ができていない ・コミュニケーション能力の低下 ・隣近所との関係が希薄な現状では, 防犯・防災意識が低下する (「遠い親戚より近くの他人」) ・一人暮らしの老人の見守りの必要性

事業名	交通基盤の整備
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者の外出支援 ・道路幅の拡幅 ・コミュニティバスの運行
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市 ・JR西日本 ・国土交通省
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に基づいた利用ができない ・JRについて、安浦方面の呉線の本数がかなり少ない (利用者数が少ないことによる) ・市営バスが安浦町まで来ない ・高齢者が運転することで、事故が増加 ・狭い道が多い安浦町では、危険性が増加 ・交通弱者の外出困難 ・緊急車両の通行困難 ・町域が広い安浦では、公共交通機関がないと外出できない ・自家用車は便利だが、道路幅が狭い

3. 事業スパン

短期（すぐ～1年後）

事業名	事業主体	具体的な内容
ホテルの住む川づくり	野呂川事務局, ボランティア, まち協	野呂川事務局, 地元自治会を中心とし, 毎年9月第1日曜日に川の清掃活動を実施する。
花いっぱい運動の推進	自治会, ボランティア	町の入口から出口まで“おもてなし”の精神でお客様を迎え, 町内外の人々の心にも“笑顔”という名の花を咲かせる。また, 休耕田の有効活用にも寄与する
里山の整備・植樹	公衆衛生推進協議会, 自治会, ボランティア	有識者のアドバイスを得ながら, 荒れた里山の整備, 紅葉や桜などを植樹して魅力づくりにつとめる
自然の観察会(動植物)	公衆衛生推進協議会, 地域の有識者	町内に生息する動植物の観察会や水辺教室を開催。自然に対する意識の向上。
アマモの保護(清掃活動, 体験, 見学など)	漁業従事者, ボランティア	綺麗な海にのみ生息するという“海のゆりかご・アマモ”を清掃活動, 水産教室での学習などを通して学んでいく。
河川流域の環境づくり	公衆衛生推進協議会, ボランティア	自然豊かな安浦町の河川を, 綺麗でより魅力的なものにすることを目的とする。
不法投棄の監視	自治会, 呉市, 警察	各地区で『不法投棄監視チーム』を結成し, 美しい町づくりを目指す。各自治会から呉市などへ通報する流れを構築する必要がある。
放置ゴミの清掃活動	公衆衛生推進協議会, ボランティア	山・川・海などに放置されるゴミの清掃活動を, 公衛協などを中心に実施。きれいなまちづくりを目指す。
休耕田活用	各種活動団体	現在, 休耕田となっている土地の有効活用。町内外の希望者に対し幅広く募集し, また, 耕作に限らない目的外の使用を推進する。
身近な野菜づくり	農・漁業従事者, JA, 安浦町漁業組合	安浦町の新鮮な野菜を町内外に向けPR, 次世代の担い手発掘する。
情報誌の発行 (きらきらのようなモノ)	観光協会, まち協, 商工会	町内の新鮮な話題やイベント情報を載せた刊行誌を1・2か月に一度発行する。
史跡・旧跡へのアクセス看板の設置	観光協会, まち協	観光資源があっても「行き方がわからない」の声が多い。手作りの看板などを分かり易い場所に設置するよう検討していく
まち歩きマップの作成	観光協会, まち協	町内の観光資源をマップに落とししていくことで初めて訪れる方々にも安浦町を隅々まで知ってもらえることができる。また, フィールドワークなどによりゲーム感覚でオリジナルの発見ができる。
HP, ブログの開設	まち協(PCに詳しい退職者など)	情報発信・共有のため, まちづくり活動やイベント情報, ボランティア情報などタイムリーな情報をHPやブログで公開していく

短期（すぐ～1年後）

事業名	事業主体	具体的な内容
特産品パンフレットの作成	特産品協会, まち協	安浦町にはどんな特産品があるのか, どんな料理がどこで食べられるのか, 『食べ歩きマップ』のようなパンフレットを作成する
地域食の開発とブランド化	生産者, 商工会, ライオンズ, まち協	安浦町の特産品を使用したオリジナル料理を開発し, 知名度を上げていく。
郷土料理の検討	婦人部, 農・漁業関係者	『内海』『三津口』『野路』『安登』各地域において, 自慢の郷土料理を研究し, 年に数回発表会を開催する。
販路拡大 (食べることができる店)	商工会, ライオンズ, 地域の食堂, まち協	町内既存の飲食店に, 安浦町の特産品を使った試作品を置いてもらう。それを店頭でわかりやすく宣伝してもらう。
料理教室の開催	婦人部, 育む会, 公衆衛生推進協議会	エコクッキングを定期的に行い, マイ箸運動など“できること”を意識面から積極的に取り組んでいく。
パンフレットの作成	地区社協, 商工会, まち協	町内の話題・情報を, 目的別に分かり易いパンフレットを作成する。
地区別ボランティアの育成	各自治会, まち協	各地区にある課題やイベント活動へのボランティアを募り, 活動参加時間などを盛り込んだ『登録制』などをとり, 講師などからノウハウを学ぶ勉強会も開催する
結成ボランティアの交流	ボランティア, まち協	ボランティア同士のワークショップなどを通じ, 横のつながりを密にし, 広い視野をもった活動を実現していく。目的などはそれぞれでその都度設定していく。
各種団体間の交流	各種団体, まち協	各種団体の横の連携がとりにくい状態にある。相互に情報公開・共有をし, より広く大きな活動を行える状態をつくる。『まち協だより(仮称)』のような刊行誌に
子どもたちとの交流 (イベント, 自治会活動など)	各自治会, まち協	遊び場・広場の減少に加え, 遊び方を知らない・体力不足の子どもたちが増加傾向にある。交流できる場や機会の提供を各地域で考えていく。
地域で特技, 趣味, 経験豊富な人材発掘	有志	歌が上手, ものづくりが得意, 歴史文化の知識が豊富, 釣りが得意, 運動なら任せとけ…自分の得意なことを活かして町を活性化していくサークルをつくる。
ウォーキングマップの作成・広報	歩こう会, まち協, 保健所	「この道をあがれば景色が綺麗」「ここからここまで何キロあるの?」など, 楽しい町歩きマップを作成することで, 積極的に歩く人が増える。また, 散歩をしながら地域の見回りを実施。
スポーツによる世代間交流	体育協会, 自治会, 保健所	町内野球大会(例)や町内体操集会(例)などを年に数回企画し, 様々な年齢層が気軽に参加できる交流の場をつくる。
竹細工, ワラ細工教室	各地域の有志	各地域のおじいちゃんやおばあちゃんから竹細工やワラ細工を学ぶ機会の創出。

短期（すぐ～1年後）

事業名	事業主体	具体的な内容
ケナフの工房	グリーンピアせとうち、町民有志	グリーンピアせとうちには、ケナフの体験施設があるので、有効活用するとともに、環境に対する意識高揚を図る。
とんどの作り方指導	自治会有志	各地域で行われている『とんど祭り』の参加、とんどの組立を学んだり、伝統文化の承継を目指す。
各地域の祭り(榎伝馬)	自治会、氏子	各地域に残る祭りの活性化を目的に、老若男女の参加を促進。伝統文化に触れる中で、世代間交流をはかっていく。
陶芸教室	友愛大学、町民有志	趣味・特技の部門に入るが、文化祭や各種イベントの際に展示出品したり、同じ目的を持って取り組むことで人の輪を広げる機会を創出することに寄与する。
各種イベントの推進体制整備	商工会、観光協会、各自治会、まち協	『安浦ええとこ祭り』や『安浦夏まつり』を始めとする、イベント推進体制の見直しをする。
あいさつ運動の推進	町全域（自治会、まち協、補連協）	町全域において『あいさつ運動推進部』などを結成し、あいさつで地域を明るく活気のある町にする。
避難訓練の定例化	各自治会、消防団など	「備えあれば憂いなし」を合い言葉に各自治会で避難場所の確認や講座を設け、普段から意識向上に努める
独居老人・認知症サポーター支援	民生委員、介護士、補連協	民生委員や介護士を中心に、訪問声かけを通じ、各世帯の状況を把握していく体制をつくる。
サロン活動の充実・連携	地区社協、各自治会有志	既存のサロン活動の充実や発展により、高齢者など健康増進や創造のさらなる質の向上に努める。

中期（2年～3年後）

事業名	事業主体	具体的な内容
体験施設の充実	農・漁業従事者	体験型の農・漁業を泊まりがけで楽しみたいというニーズに応えられるような施設を充実させる。「自分たちで作った野菜を食べる」「自分たちで釣った魚を食べる」など。
修学旅行誘致(体験型)	農・漁業従事者	観光地の要素の他に、体験型学習を取り入れることで、学生を中心とした若い世代にも農・漁業への興味関心を高めてもらう。
空き家対策	呉市定住対策室, 自治会	部分的に高齢化することで過疎化が進み、その影響を受けて空き家が増えている。防犯対策の上でも問題があるので、自治会及び呉市が協力連携して取り組む問題である。
人口増に向けた定住対策	呉市定住対策室, 自治会	呉市定住対策室と各自治会が連携し、情報の共有・連絡を通じスローライフの実現に向けた対策をすすめる。
町内運動会の開催	体育協会, 自治会, 保健所	事業主体を中心に、町内運動会を開催。種目や開催日程、場所など検討項目は多い。この事業があることで、日頃から準備運動をする意識が高まるので、運動のしやすい場・機会づくりが必要。
外灯の増設	各自治会	各自治会において、外灯の少ない場所をピックアップし、外灯を少しずつ増設。(防犯・防災対策にも寄与)
市民交流館(仮称)の設立	まち協, 自治会, 各種団体	廃校となる学校の跡地や安浦市民センター新庁舎のスペースを利用し、市民同士・各種団体同士の情報交流の場をつくる。

長期（5年～10年後）

事業名	事業主体	具体的な内容
物産館(仮称)の建設 ※道の駅のようなもの	商工会, ライオンズ, 商工会	朝市や特産品販売の場、町内外の住民の情報交換の場をつくる。
交通弱者の 外出支援活動	安浦交通, JR, 呉市	町内バスやJRなど、使用時間帯を調査し、よりいっそう利用のしやすい状態にする。
バス, JRの増便	自治会, JR, 安浦交通, 呉市	呉市営バスについては川尻止まりから延を、JRについては広駅から安浦方面についても増便を要望する。町民全員の協力により、公共交通機関の利用増も必要となる。
道路の拡張整備	国, 県, 呉市, 自治会	車社会を想定した道幅になっていない場所が多いため、道路往来が困難となっている。また、緊急車両の出入りがスムーズにできるよう要望する必要がある。

VIII まとめ（今後の展開と課題）

安

浦町まちづくり協議会を中心に、安浦町に在住するみんなで作ってきた「安浦町まちづくり計画」は、「行政主導型のまちづくり」から「住民主導のまちづくり」へとシフトする大きな契機になったように感じています。

町内に潜在的に眠る、すばらしい素材・資源（自慢できるもの、特産品的なもの）に気づかせてくれた広島国際大学のゼミ生やワークショップを通じて共通認識が図れた仲間たちに感謝したいと思っています。

今回、作成した計画はワークショップや市民意識調査をもとに、まちづくり協議会（事業企画部会）がまとめたものですが、次年度以降、各事業を展開する中で修正・変更は多々あると思われます。

まちづくり協議会だけが安浦の将来を考え、実践していくのではなく、安浦全体でまちづくりに対する機運の醸成・高揚が図れるようにしていかななくてはなりません。

安浦町まちづくり協議会としては、「今ある計画がベストではなく、ベターだ！」という基本スタンスを変えることなく、絶えず「町民との対話」を繰り返しながら各事業を展開していこうと考えています。

また今回の計画を考える中で、新たな課題とも向き合うことができました。それは、財源に関することです。計画の中で検討している各事業を展開するためには、少なからずお金（財源）を伴いますが、安浦町まちづくり協議会の予算の内訳は、90%以上が呉市からの補助金や助成金に委ねられています。

言い換えれば、呉市からの財源が確保できなければ、少なからず安浦のまちづくり活動にブレーキが掛かるとも言えます。

呉市は、現在、財政集中改革プログラムの実施期間中で経費節減の波が押し寄せていると聞きます。その波は、市内各地域で活動しているまちづくり協議会（委員会）にも近い将来、影響を及ぼすことでしょう。



したがって、今後の安浦の将来を検討するうえでは「財源確保」という側面も目を背けてはならないことだということが分かりました。

そのためには、収益事業の数%でもいいのでまちづくり協議会にプールしていく方法も検討する必要があります。

課題・案件ばかりを考えていると気が重くなりますが、今回の計画づくりを通して培われた町民同士の絆やまちづくり協議会の結束力は何事にも代え難いものです。

今後も安浦全体でまちづくりに対する機運を盛り上げながら、頑張っていきたいと思っています。